新眞婦人

六月號

第六拾貳號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正七年五月二十八日印刷納本
大正七年六月一日發行（毎月一回一日發行）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、金、木午前及木午後六時
林、峰間、兩副長は目下當院に在勤

東京麹町三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
東洋內科醫院
電話番町（六二一番 五一六番）
院長 醫學博士 高田畊安

南湖院
電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後入院診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六月號の目次

口繪　清き人の心と汚れたる人の心

卷頭語　口繪の說明

婦人の正しき力と正しからざる力……西川文子……（二）

現代繪ハガキの一傾向……文學士 菅原敬造……（四）

寂しき春……橘三郎……（五）

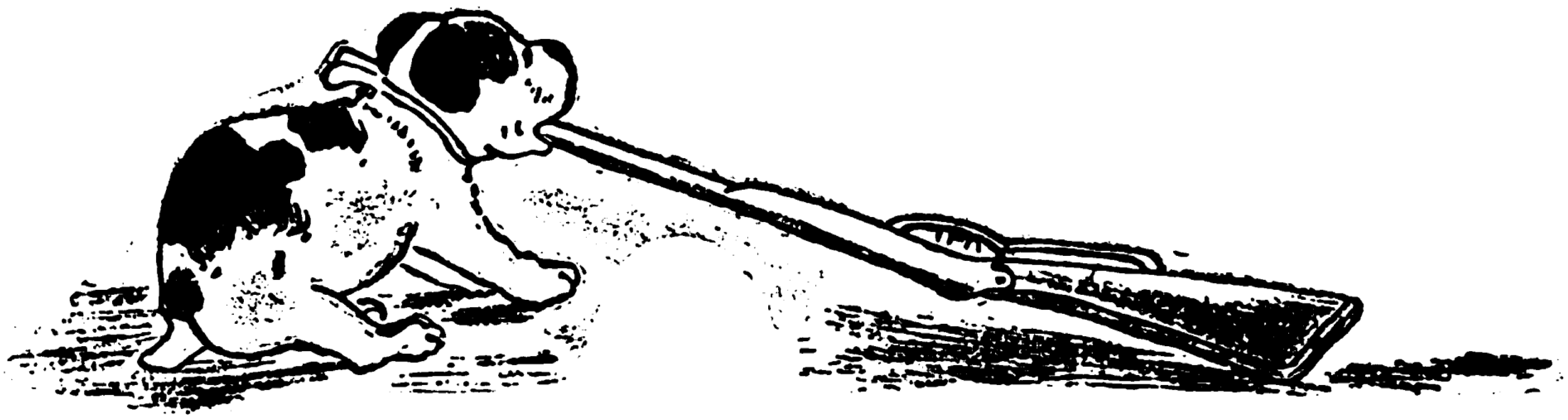
食物と敎育……女子高等師範敎授 大江すみ子……（六）

べにつばき……佐々木代志子……（九）

梅毒の遺傳……醫學博士 岡村龍彥……（一〇）

身體魂……桑田文學士……（二）

おさよ述懷……速川ゆくえ……（三）



誕生だ赤飯をたけ　徳富蘆花…（一四）
玄米のたき方　（一五）
婦人の健康に有效なる杖術　江木榮子…（一六）
晶子千首會　（一八）
中年男女の健康法　西川光二郎…（一九）
主婦の心得べき事　（二一）
發車まで（一）　東大寺太代…（二三）
三日記者（中）　高橋千代壽…（二六）
緣（中）　山本勇夫…（三〇）
新眞婦人社の新事業
手紙の中から

六月一日發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭必備劑

臺灣總督府專賣局方劑

藥學博士下山順一郎先生發明

◎本劑は防臭殺蟲殺菌劑として廿年來本邦に廣く認められて居ります。

◎最も恐るべきコレラ菌、ペスト菌も本劑を撒布せば、僅か五分間で死にます。

後デシン
藤デシン液

◎されば諸官省、病院、工場、家庭等に於て、便所其他不潔の場所に常に本劑をお用ひになれば、流行病を恐るゝの必要がありません。

發賣元

東京市神田區仲町一丁目三番地

株式會社 第百商店

電話下谷八三六番・振替口座三〇四五八番

全國最寄各藥店にあり

胃腸病とタラコン

普通胃腸の藥は總て只一時の消化を助けるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其の活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にし吸收を好くし本統に健全な身體となります急性慢性の胃腸加答兒、胃腸アトニー、胃擴張、胃痙攣、常習便秘、常習下痢、胃癌、胃潰瘍等苟くも胃腸病に苦しむ方は是非御試し被下いタラの一種峻烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも靈驗卓効があります。

藥價◎散藥廿回分五拾錢四拾五回分壹圓百回分貳圓◎煎藥一週間分一圓二週間分一圓九拾錢
◎送料八錢　海外卅錢

キキメたしかな

つわり湯

妊娠すると誰でもつわりになります、つわりには藥がないと申しますが、此つわり湯は淺田宗伯先生の遺方で村井弦齋先生が實驗の結果其卓效に驚かれ發賣を勸められた妙藥です之を飲みますと嘔氣を止め食慾を進め營養をよくし血行を旺んにし妊娠の經過を安全に致ます身重になつてつわりに苦しむ方は是非お試し被下い

藥價一週間分一圓、二週間分一圓九十錢　送料八錢　海外卅錢

東京小石川下富坂町廿番地

無量壽藥園

電話小石川二九五六番
振替東京二〇〇二一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遠藤波津子實驗有効品

本部改築中の所化粧部 化粧品部**共完成仕候間御來車希上候**

理容館特撰夏期化粧料

区分	品名	説明	價格
長分 特製	ライラック水	あつさりとして艶々しい化粧心地は他のまねの出來ぬ本品獨歩です、白粉下風呂上り溶水荒れ止によろし、粗製品あり特製品に御注意	1.00 .70 .50 .30
顔用 髮用	理容白粉	特に春用分は荒れ肌にも浮かずノリノヒ自在長時間保つ事實驗上請合ます純無鉛芳香にて量多く襟につかず	.50 .35
シミ ソバカス	マッサージ用クリーム	脂肪で白粉乘らず何となく色穢き方吹出物の方素顔を美しく見せ度き方白粉キライの方に御進めいたし升	1.50 .85 .50
家庭用 素人向	簡易美顔術箱	家庭に居て遠方でも立派に美顔術が出來ますお顔のいろ〳〵の故障を治し垢ぬけして見違る程美しく成升	4.80 3.80
白粉下 荒れ止	ハイジエニック、クリーム	化粧下に此位良い品は今迄にありません、又荒れを防ぎ皮肌を肥します、殊に春には最も有効です	.60 .45
純良 無比	固形ぬか	日本には純良のぬかに越した美顔料はありません本品は純良ぬかを固形にせる物便利で何とも言へぬ使ひ心地です	.65 .15
理想的 七日持	旅行用化粧箱	極新式型立派でカユイ所に手の届く樣に便利で化粧料も詰めてあります	5.00 4.50 4.00 3.50
英米佛 新着	優良粉白粉	一一、試驗濟、濃きも淡きも御好み次第品は頗る優良品のみです	.40 .50 .75 1.50
英米佛 新着	コールド、クリーム	アブラの少なき春の化粧下、及荒止めにて、アブラのキライな方に好適	.50 .60 1.65
キハツ 代用	ライラック化粧水入理容白粉	白粉で化粧水を兼れる日本で初めての品春の化粧には最も理想的で白粉下がいりません	.35
米佛 新荷	パウダー、パッフ	粉白粉を付けるには是が無いとうまく行きません、今間非常な逸品入着せり	.20 .30 .50

◎御婚禮御化粧御仕度、寫眞御化粧、美顔術―理容館化粧部――遠藤波津子（送料 内地八錢 海外卅錢）

大阪特賣所

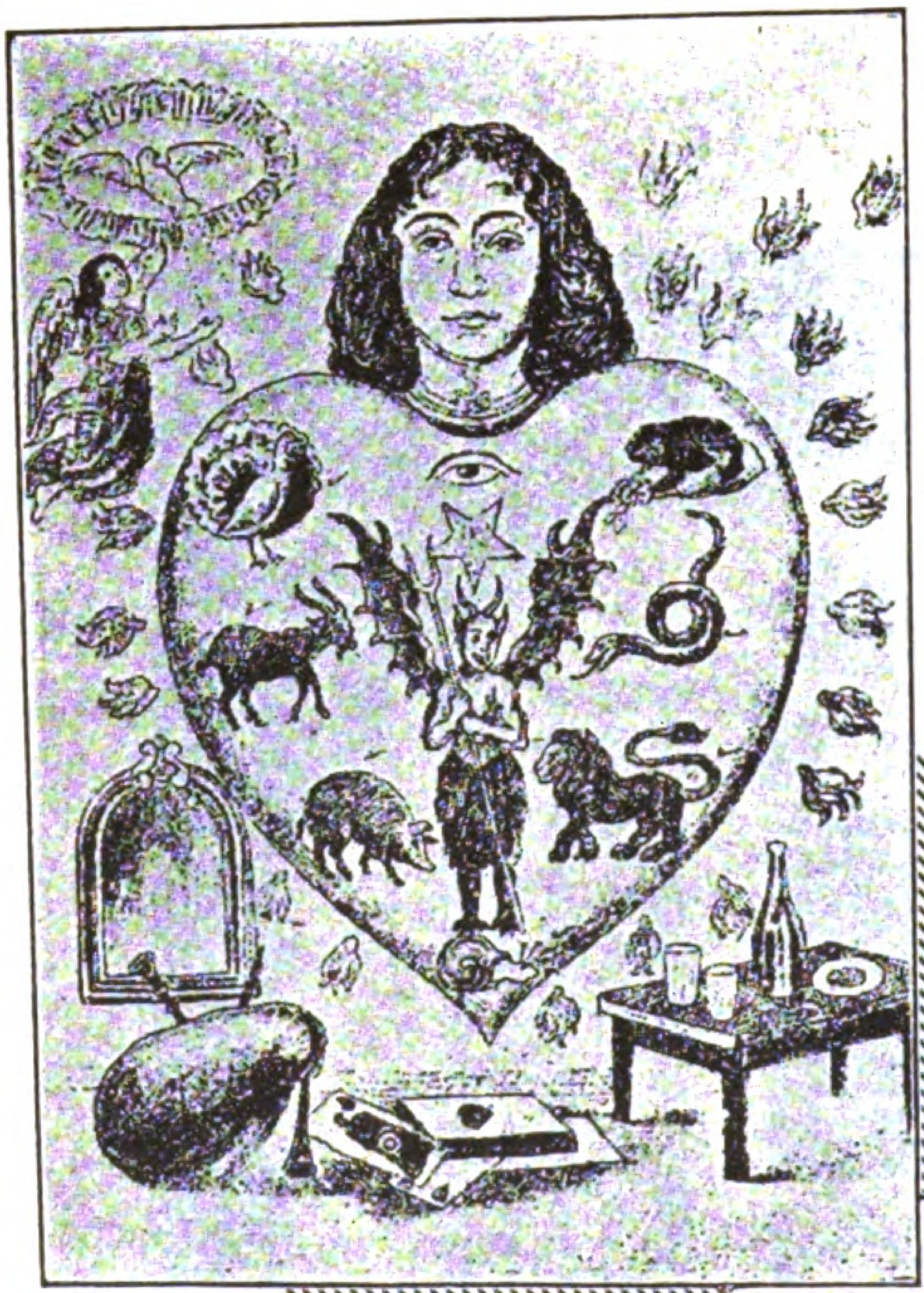
大阪市東區南本町 中橋筋角 電東三二三一

香取屋化粧品部

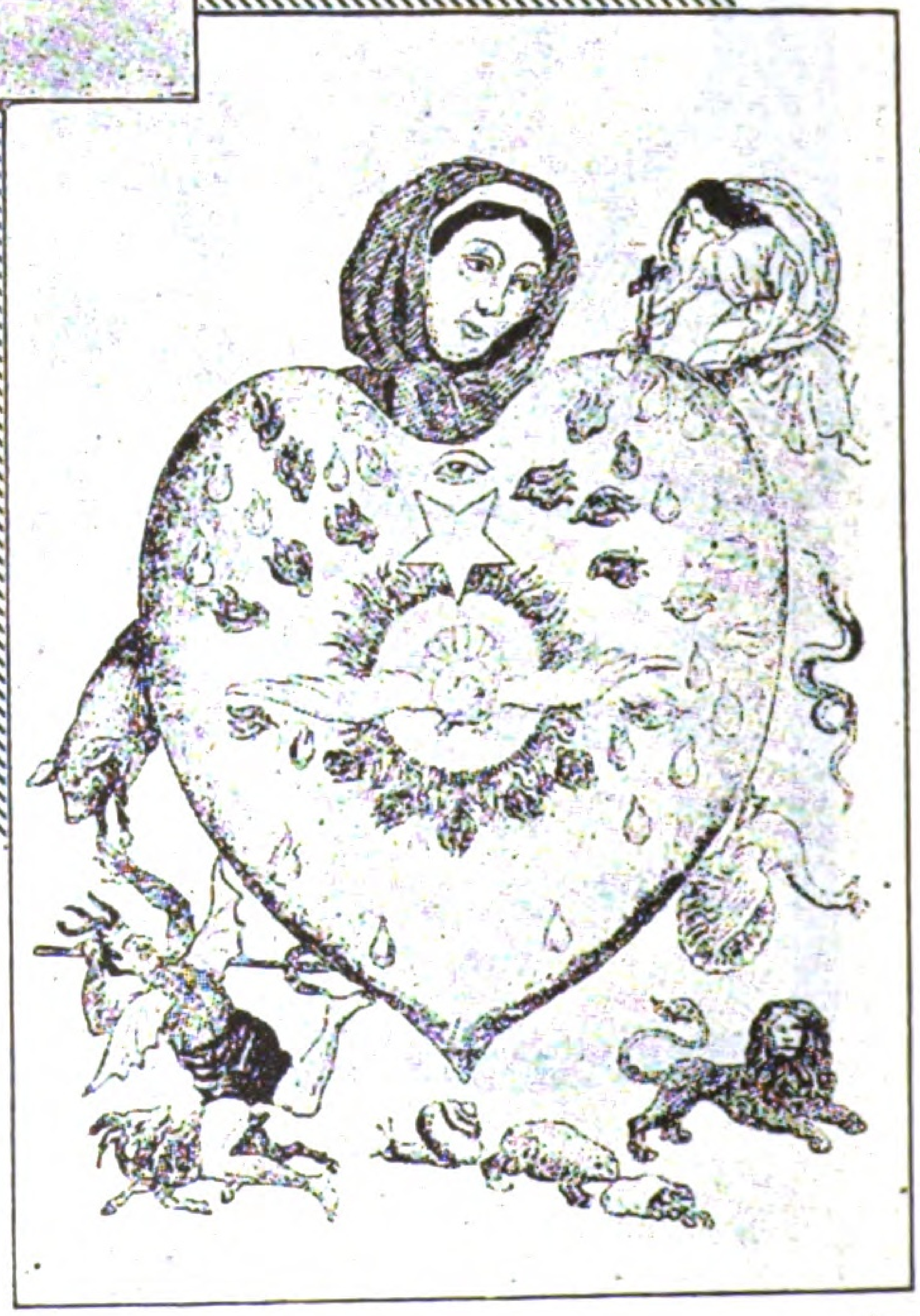
新橋竹川町十二　理容館　電新三五一一 振一四一〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



（第一）



（第二）

説明第一頁にあり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料

御園白粉

みそのおしろい

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全にして優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包裝を飾らず實質本位の化粧品なり

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり

御園白粉
（水白粉）御園の月
（粉白粉）御園の花
（打白粉）御園撫子
御園紙白粉
（濃厚化粧水）御園四季の花
（化粧水）御園の露
（濃化粧用白粉下）御園の蕾
御園クレーム
御園香精
（化粧香水）御園の橘
御園香油
御園齒磨
御園ルチゲン

本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及病室

の設けあり随時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

正味 袋入として

●洗濯石鹸の騰貴驚くに足らず

太陽コナ石鹸半額販賣

壹圓なれば 貳圓分
五拾錢なれば 壹圓分
廿五錢なれば 五拾錢分

新橋際 天下堂
神田小川町 天下堂
青山北町三ノ六 柳屋商會
電話芝二八八四番
振替東京五二七四

四ッ谷尾張町三番地
四ッ谷見附前横丁 柳屋支店

僞物あり太陽印コナ石鹸に御注意を乞ふ

自宅獨習

共立女子職業學校教師 數氏及び大家博士**執筆**

裁縫書は多いが說明のない裁方を並べた位で縫方は殆んど教へてないから、到底自修用にはならぬ。本會は之を遺憾とし特別の通信教授を案出して、學校にて教授すると同樣詳細丁寧に說明し、自宅に居乍ら高等な裁縫學校に通學同等の學力を充分に授く

（卒業一ヶ年）

和洋裁縫講義錄

月謝僅に三十五錢

三ヶ月一圓一年三圓六十錢

每號百六十頁美本

生徒募集

□和服裁縫科
□洋服裁縫科
小物及細工物科
□袋物科
■國民道德 ■教育
■裁縫教授法 ■色洗

どなたにも充分解るやう平易に高等裁縫まで教授す
一日おくるれば一日の損
勉强するのにまよふは愚
僅少の月謝一年の修業で東京遊學と同樣の力を得

入學の好機！
■小學丈で通學出來ぬ人
■各種女學生の參考書
■特に檢定試驗受驗者
□裁縫教員の好師友教材
卒業證書を授與

內容見本附規則書
郵券二錢送れ

東京神田今川小路

日本裁縫教育會

電話本局 六〇二四番 四〇三五番
振替東京三三〇七六番

腦病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話小石川一六六）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

家傳靈藥

ぢの薬

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏效頗る顯著の

家傳靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の說明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

●製藥本舖 小松盛林堂

產科婦人科
小兒科
（宅診午前 往診午後）

女醫 井出茂代

內藤新宿番衆町三一

電話番町三六七七番

腦病精神病専門

南葛飾郡龜戸、龜戸一二一〇

加命堂腦病院

電話本所二五五二番

院長 奈良林淺次郎

カタノコリ、神經痛、リウマチス總て痛所に妙効あり（五錢●十錢●二十錢●五十錢）全國到る處の藥店にて販賣す

東京市日本橋區箱崎町二丁目 東京製藥社

東京市下谷區二長町一番地

凸版印刷株式會社

電話下谷一、七〇七・二、〇二六・四、〇一九番

同　本所區番場町四番地

同　本所分工場

電話本所二四四・二四五・二、八〇四番

同　神田區鎌倉河岸七號

同　神田分工場

電話本局四六二六番

にきびとり
薬しやぼん

にきびをとり●ひぜん、たむし、いんきんなどの皮膚病を治し●傳染病の豫防に效力あり●あらゆる消毒に用ふれば硼酸石炭酸の代りとなり又化粧用手洗用にも適し重寶此上なきしやぼん也

定價（小 五錢 大 十錢）

送料（一個 二錢 一打入一函 八錢）

岸田
精錡水
目薬

東京銀座
精錡水本舗

▲目薬のオーソリティー▲

定價（五錢 十五錢）

近來同名の擬藥多し御注意を乞ふ

岸田吟香商店

電話京橋 六一五
振替東京 四七八七

□……自午前九時至三時迄縱覽隨意……□

◎生徒募集 和洋服裁縫及刺繍ミシン專修

（規則進呈）

麴町區有樂町一ノ五

シンガー裁縫院

電話本局 四三一一 五二六九

生徒募集

家政部（四月又ハ九月入學ヲ許ス）

裁縫部、手藝部、實業部、土曜日曜部、手藝講習部

（以上各部共毎月入學ヲ許ス）

個人教授

詳細郵券三錢要ス

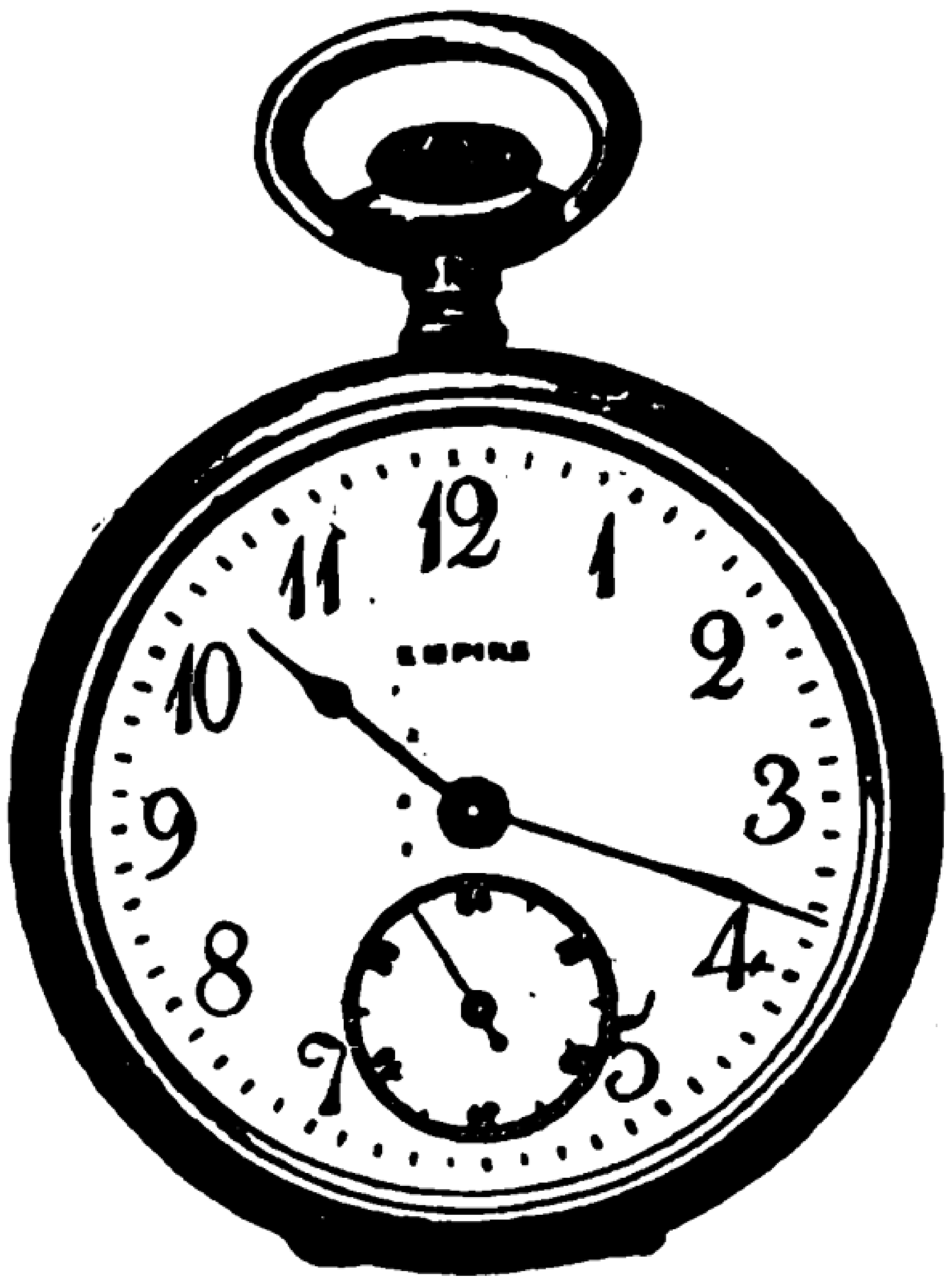
東京市麴町區上六番町七

私立大妻技藝學校

電話番町 一二二〇番
振替東京 三一六〇九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

營業品概要



精工舎製懷中時計
歐米製各種時計類
双眼鏡及各種眼鏡
測量用諸機械一式
製圖器度器及附屬
氣象用航海用器械
プラチナ地金及製品
ダイヤモンド及諸寶石
貴金屬製諸美術品
寶石入各種裝身具

東京銀座四丁目

服部時計店

電話京橋長
一三〇〇
一三〇一
一三〇二
一三二三
一八〇〇

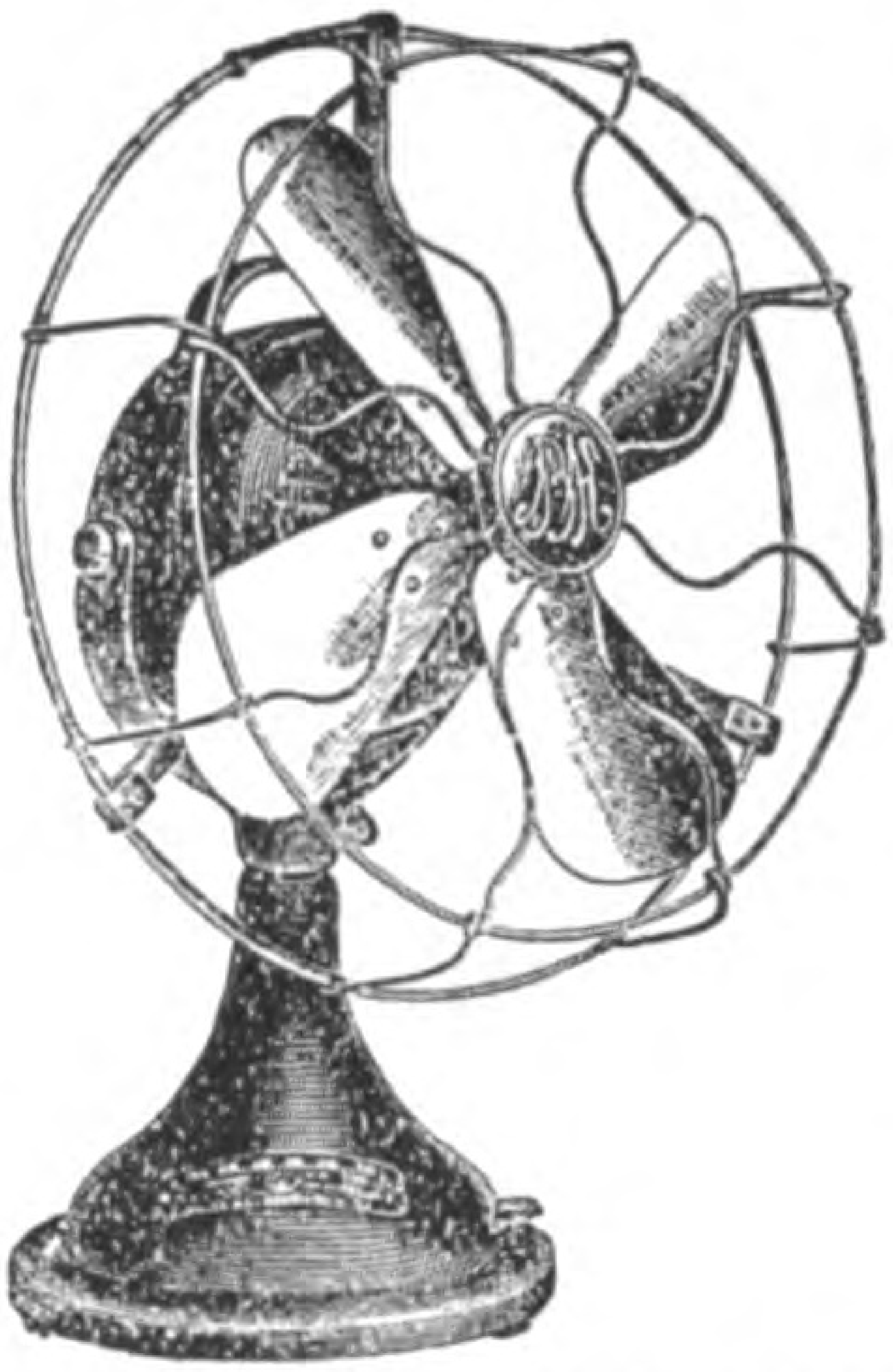
振替貯金口座東京二九八〇番

營業一覽御申越次第郵送可致候

Patent A.C. & D.C. Fan motors & Heaters

天井用電氣扇

目錄進呈



B.K.卓上電氣扇

DESK AND BRACKET FANS.
12 INCAES AND 16 INCHES.

モーター

二分ノ一、一、二、三、五、七半、十、十五馬力等各種在庫豐富

自家用發電機

十、十五、二十、三十、五十、八十、百燈用等持合セ多數アリ其他各種迅速製造仕リ候

サンデン電氣商會

本店　東京市京橋區尾張町二丁目一九（電話特長新橋特二四二二 振替口座東京一八四七三）

工場　東京市芝區高輪北町五十三番地（電話芝二四二二）

支店　大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側（電話南長二〇二五）

支店　横濱市吉田町一ノ二九（電話一九三一番）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（第六十二號）
六月號

汚れたる人の心と清き人の心
口繪の説明

此の繪は元、千五百七十七年佛國レオンに生れしノーベルと云ふ人の書いたものであつて、爾來今日に至るまで佛國は勿論、英國、獨逸などに於ても用ゐられ來つたものである。

●第一は、汚れたる人の心を示したもので、中央に立てる翼あり、角あり、蹄ある者は惡魔で、其の頭上に信仰の星と良心の眼とあり。其の周圍に描かれてるは七の恐ろしき罪で、七面鳥は驕慢、羊は贅澤、豚は大食、蝸牛は無精、獅は忿怒、蛇は羨望、蛙は慾深を象徴せるものである。下にある鏡、ラッパ、カード、酒などは、罪への誘惑物を示したものである。

●第二は、惡魔を始めとし、七の恐ろしき罪まで心の中から追ひ出され、聖靈が心の中に一杯になつてる有樣を示したものである。

勿論之れは宗教畫であるが、信仰に關係なき眼で見ても教訓になると思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の正しき力と正しからざる力

西川文子

正しからざる婦人の力

世間でよく「犯罪の背後に婦人あり」と申し、今回の九州疑獄事件に就ても、大分「婦人が男子をそゝのかして收賄せしめた」ものであるかの如く論じた向も御座いました。

彼の歐洲の大戰場に於ても、此の婦人の正しからざる力が大に働いてゐる樣で、墺太利ヴヰンナの學者フインガーの書いたものを見ますると

バルカンから病院代用の列車が到着する毎に、其は負傷兵を滿載せるを見ますが、其の負傷兵の大多數は、ヴヰナスの爲めに負傷したもの、美人軍の爲めに敗れたものであるのは慨はしい

と誌してあります。獨逸側でも、英佛側でも、兵士に對して、有らゆる方法で「敵軍よりも恐るべきは美人軍である、先づ之れに打勝たねば、敵に勝つことが出來ない」と警告を與へて居るのを見ますと、如何に婦人の正しからざる力が恐ろしいかゞ想像されます。

私も世間に習ふて、婦人の正しからざる力と云ふ語を用ゐましたが、之れは眞實婦人の力と云つてよろしいものでありましようか。私は然らずと考へます。之れは婦人の力でない、婦人を對象にして男子が行ふ不正行爲に過ぎないと考へます。

されぱこそ、婦人が無智、無氣力、無理想、無人格であればある程、所謂「婦人の正しからざる力」が強く働くのであります。之れに反し

婦人の正しき力

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の方は、婦人に人としての自覺、人格、見識、氣力と云ふ樣なものが生じて來ないと働きません。婦人の正しき力は、其の自覺、人格、見識、氣力の増すに正比例して増して行くものであります。

私は米國婦人の社會的活動振りを聞きます毎に此の感を深くします。米國スミス、カレーヂの女學生十八名は、佛蘭西に赴き、アミエンの南東で、獨逸兵の爲めに三年荒らされて居た十六ケの廢村復興に努力して居るとか。

又英佛の婦人が、近世の塹壕戰は誠に單調、無趣味で、適當に兵士を慰藉せねば、到底士氣を維持することが出來ないことを知りて、種々盡力して居ることを聞きまして、此の感を深くします。

殊に開戰の當初、獨軍が巴里に迫り、佛國が都を一時南方へ移しましたとき、避難者が醜態を示さなかつたのは、主として婦人が冷靜沈着なりし爲めであると聞き、過日獨逸飛行機の爆彈投下で、英國の或兵器製造場が燒けし場合、ソコに働ける婦人職工が少しも騷がなかつたので、火事を一部分で消すことが出來、且つ作業を局部の外は一分も休止まなかつたと聞きて、いよいよ此の感を深くします。

目今の急務

それで私は思ひます、正しき婦人の力を増大する工夫が目今の唯一の急務でありまして、「婦人の正しからざる力」の方は、論ずるの必要だもありませんと。假りに論ずる必要があるとしても、开は寧ろ男子の反省を望む爲めに云ふべきことでありまして、婦人論として論ずべき筋合のものではありません。

幸にも日本婦人の**知識慾が昨今著しく増進**して來ました。大學で開かるゝ通俗心理學講話の聽講者の三分の一は何時も婦人です。四月下旬に開かれし變態心理學講話會の聽講者の三分の一も婦人でありました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

概して云へば、婦人は男子よりもどうしても閑時が多いものですから、其の知識慾にして進まばやがては我國に於ても、米國に於ての様に、婦人の知識の方が男子よりも進むに至りましよう。其の時が來れば婦人の正しき力が、今日よりも幾倍も強くなつて、種々の意味で社會が婦人に導かれるに至りましよう。

私は「今後の社會は婦人に導かるべきものである」と豫言します。そこまで婦人の正しき力を增大せしめねばならぬと絶叫します。

然るにも係はらず、云ふて詮なき、婦人の正しからざる力のことのみ云々して、まだ婦人の正しき力の助長を閑却するもの丶多きは、如何にも慨はしいことであります。

現代繪ハガキの一傾向

文學士　菅原　敬造

現代流行の繪ハガキの中から、藝術的に價値のありそうなものゝみを選びて、之れを觀察するに、其の殆んど全部は、婦人を中心として愛情の生活、性慾の生活を描きしものである。其の中傑作は自由戀愛を描きしものに多く、夫婦の愛情などを描きしものに傑作がない、これは何んとなく淋しく悲しげに描かれて居る。

繪の系統から云へば、第一に浮世繪(胡龍齋、春信、豐國、國貞、歌麿)の系統を引いて居て浮世繪に見る樣な腺病質な肋膜、肺病的な婦人が可なり繪ハガキに現はれて居る。第二に大津繪、奈良繪などの系統を引いて居て、ソレには原始的なよい味がある。第三に西洋の版畫や後期印象派の系統を引いて居る。要するに此等の諸系統の混成品と見ればよいのである。

描寫に就て觀れば昔のやうに三味線を添加することによつて藝者を想はせるとが、或は三十二相を具備させるとか、因襲的な描寫では最早滿足せず、娼婦にしても娘にしても媚態といつたやうなものが可なり纖細に出てゐる、胡龍齋などが單に衣服の線や模樣などばかりを入念に描いて居るのに滿足せず、殆ど崇物病的に見ゆるまでに身體各部々々の容姿を可なり巧に描いて居る、要するに不良性、低能性、犯罪性を帶びた婦人の薄弱な精神の特徴が良く現れて居る、而も夫等のものが理智を以て描かれて居る場合には其不健全不良なものであることを悟ることは比較的に容易であるが夫れが抒情的に藝術的に描かるゝ場合には一種の氣分となり情緒となつて迫るから知らず識らずの間に愛翫し保存し不健全な病毒に冒さるゝやうになるから恐ろしい。けれども獨逸の性慾學者フックスの色情藝術の歴史などを見ても分ることだが、我國の繪ハガキは、歐米に比すると、まだ／＼善くない方である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寂しき春

橘　三　郎

春はやく白つゝじ咲くさ庭べをわびしみ見つゝ妹を思ふ

暮れてなほ灯もともさざる汝が部屋にさみしく雨をきゝてやあらむ

白きおもわに愁ひふくみて扉のかげにたてるを見なばかなしかるらむ

若うして死に行きし姉を祖母に心さびしくたづぬる宵かな

みづからを叱る心のおのづから涙となりてさびしき夜なり

うれはしさおもはぬ妻を強ひらるゝ身にさびしくも春は來りぬ

緣日の遠き灯に見入るさへさびしき春となりにけるかな

なみだ今にじみ出でけり和泉なる夜の山脈の月明りはも

何となく家を出で來て佇める日だまり草の匂ひは悲し

砂丘に街の夕べの鐘をきくしづかなる海は暮れんともせず

廢兵がくすりの唄をうたひ行く港の街の春の夕陽

春の夕陽うすう流れし水のべに青き蟲とぶしづけさを思ふ

星一つ青う流れぬ草の家戸をさす音のさみしくきこゆ

かなしみのひそかに棲める暗き家に灯をともすときさみし雨の音

初夏の白き花さく草原に雨しとど降る朝はうれしも

ほの／＼と水にのぞめる家にして髮すくひとの見ゆる初夏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

食物と教育

大江すみ子

夜の食事時を學校で云ふと修身の時間に應用したいものです。何處の家庭でも朝は忙がしく晝はお辨當で夕食の時始めて集まるのですから、此の時を利用して家族團欒を計る可です。もとより食事は營養上に必要ですが、行儀作法を敎へるのにも利用するとよろしい

○感謝すれば好嫌が云へなくなる

先づ感謝する、箸を取上ぐれば御禮を申す事にして置けば、あれが嫌、これは好かぬと云へなくなります感謝の方法も敎へ、變る〴〵感謝する事にしておく、天子樣の御恩、親の御恩、天父の御恩も感謝すれば、我儘に食物の好き嫌が無くなる。それを親からして云へば子供も自然云ふ樣になります。又少々加減が惡くてもだまつて食べてゐますと、調へた人は小言云はれるより却つて氣の毒に思つて、今度からはもつと氣をつけておいしくしましやうと思ふ樣になります。

○復習の時間にする

學校で習つて來て、歸つてからお母さんの處で復習した事を、夕食の時に今一度お父さんや皆の處で話させ、間違は訂正し、勵ましてやると、覺えた事を口にするので發表する稽古にもなり、繰り返すので知識が確かになります。お父さんも小供が大きくなつて皆な勉強してゐるのにいつまでもうか〳〵してゐられない、もうお酒もやめましやうと云ふ樣な事になり、小供の爲めにもおさらへになりお父さんの爲めにもなります。所がお父さんはいつまでもお酒をのんでくだを卷いてゐて、小供にばかりお前達早く二階へ上つて勉

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

強せい〳〵と云つてもそれは駄目です。

○十年間勉強すれば

どんな人でも偉い人になれますが、十年間活動寫眞ばかり見てゐては下等な人になりまり。お母さんも下女を二人おく處は一人にして一人おく處は無しにして一生懸命してゐるのだからようく勉強しなければなりませんと。お腹が大くなつてよい心持になつてゐる時に云ひ聞かすとよく小供の頭に入ります。人間の一生に盛の時は五年か十年しかありません。如何に偉い人でも後から後から偉い人が出て來るから、心の帯を確かり締めてゐる時には繁昌するけれども一旦ゆるめると下火になります、で生活は中尉の時には少尉の程度と云つた樣に一段下げて暮すのがよろしい。すると小供はお父さんやお母さんの樣な僅かの收入でさへよく勉強させて下さつたのだから、私達はもつとよくならなければならぬと思ひます。

○電車で婦人に

席を讓らないのは、婦人が惡いからではないかと思ひます、たま〳〵讓つてくれる人があつても、あたり前だと思つてゐる、小供の時から仕込まねばならぬ、『お前の爲めに席を讓つて下さつたよく御禮を申上で』と云ふ樣に、西洋では弱いものを虐げるのを非常に耻辱として、兄妹喧嘩をしても『坊はジエントルマンでしやう』と云へば五つ六つの男の子でもジエントルマンを自任してゐるから、弱いもの虐めはしない。私が嘗てアメリカで知人の家の小供に友人の家に案內して行つて慣つた時、出かけにお母さんが『外側をゐらつしやい〳〵』と注意する。すると十一歳の小さい子が大きな私を保護する氣で電車や馬車の通る外側の方を自分は歩いて、私は人家の方を通行させどうかして廻り角などで私が外側になると、あわてゝ後から外側へ廻るのです、誠に上品なものですが、そんな小さい時から母親が非常に注意するからです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○音をたてぬ様に

食事の時にガブ〳〵、スウ〳〵と音を立てぬ様に注意しなければなりません。元來音のするのは上唇の處に空氣がは入るからです、上唇につけてナメ呑にすると音がしない、日本でも禪寺で煮る粥はヅル〳〵の水粥でも少しも音がしないと云ふ事です、西洋でも音をたてゝスープを飲む事を大變戒めて、豚だと云つてゐますのに、或人が外遊に來られた自分の先生を世話になつてゐる家庭に招待して貰ふと、グウ〳〵と大きな音を立てるので、其家の五つばかりの小供が目を丸くしてのぞくので孔へでも入りたい様に思つたと申しました。

○食堂は作法室

女學校の寄宿舍に入れておくと禮儀作法も習はないで困ると云ふ事をよく聞きますが、あちらの女子大學等では如何に試驗中の忙がしい時と雖も、もう夕食だと云ふ一時間も前には髮を結ひ白衿紋付に着かへ、先生から順々にチャンと列をしては入り、食堂には卓に一々花を挿し、四方八方の社會問題から時事問題あらゆる事を語りながらゆつくり食事をするのが例になつて居ります。食堂は作法の實習室です。

○飲食店につれて行かぬ

特に小供の時から注意したいものだと思います、氷やおしるこや、おすしやに行くのが道樂者になる階段になりはしないかと思はれます、衞生上から云つても道德上から云つても外へ出ても歸りに宅へ買つて來て一しよに食べさす様にするのがよろしい。女中等にも小供と同じ様にやらなければなりません、男の子も女の子も大きくなつてから部下を愛する様に、食物に迄氣をつけねばなりません。

○禁酒について

は小供の時から少しも飲み習はないのと、飲み慣れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのを禁じるのと二つあります、最初から飲み癖のつかぬのは本人も樂ですから小さい時から呑ませない樣にするのがよろしい。又飲みつけた人もやさしい女の力で少しづゝ止めて貰ふ樣にして欲しい。

或人は好きな酒を止められました。奧さんに聞くとエンサイクロペヂヤが利いたか牛のよだれがきゝましたか兎に角止めてくれました、と仰しやいました。其理由は昔から禁酒には牛のよだれがきくと云ふので其夫人は毎日熱心に、小供を十文字にくゝり牛のよだれを貰つて來て牛乳に入れたり、コーヒーに入れたりしてゐたが何だか臭くていかんと云つてゐられた。處がエンサイクロペヂヤが欲しくて仕方ない何とかよい工夫はないものだらうかと相談され、夫人は御酒を止めて下さるならばと云つてとう／＼買はれたと云ふので牛のよだれが利いたか、エンサイクロペヂヤが利いたかと云はれたのでした。

兎に角其の熱心が效を奏するのです、始めから『牛のよだれなんて駄目です』と云つてゐる人には到底駄目です。

べにつばき

佐々木　代志子

あるときは心細さにたへかねてつばきの花をちぎるなりけり
ほんのりとほてるわが頬におしあてしつばきの花はつめたかりけり
紅つばきつらつら咲けり君がそば心あまえて見てありにけり
紅つばきぽたりと地に落つる音のかすかにきえゆ晝のしづけさ
思ひうみ思ひ疲れてさ庭べのつばきの花を見てあるゆふべ

○

おろかなるわが身ひとつを愛しめる君のかたへに心あまゆる
くろぐろとつやおびてこし黑髪をときてわがぬる春の夜かな
絹絲を糸切齒にて切る音のふとさびしさをさそふ夜かな
靑空のひかりしたたるばかりうら若き身の乳房おもたき
名もしらぬ春の小草は芽をふけり彌生の空ゆふりそそぐ日に
うらうらに空ははれたり野少女が野芹つみつつ何をうたへる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

梅毒の遺傳

醫學博士　岡村龍彦

花柳病の中最も恐るべきは梅毒であつて、其の毒の子孫に遺傳するのも亦た梅毒のみであります。

さて梅毒はどうして遺傳するかと云ふに、所謂胎內傳染を受けるのであつて、母の血液に此の毒あれば、其の血液で養はれて居る胎兒に、次第に病毒が傳染するものであります。

其の結果胎兒がどうなつたかと云ふに、姙娠三ケ月位までの間に、傳染して仕舞ふと、必ず流產します。姙娠三ケ月位まではまだ胎兒は出來上つて居らぬのであるから、之れが毒を受けると、恰かもまだ出來上らぬ家屋が暴風雨に會つた樣なもので、一とたまりもありません。

五ケ月、六ケ月してから毒を受けると死產、七八ケ月してから毒を受けると早產を致します。

佛蘭西の花柳病學者の統計によりますと、梅毒にかかれる五百組の夫婦の間に、千百二十七回の姙娠がありし場合に、內二百七十回は流產、二百四十五回は死產。又同じく梅氣にかゝれる二百組の夫婦の間に、千百五十六回の姙娠ありし場合に、三百七十三回は流產三百九十六回は死產を致して居ります、之れを以ても梅毒婦人の小供は先づ半分死んで生れると云つてもよいことが分ります。

それから幸に十ケ月を胎內に過ごして無事に生れましても、母に梅毒ありし場合には、生れてから一年間に、其の六割までは死去致します。中には生れた時は何んともなくて二十歲頃に突然症狀を呈するものもあります又中には親が早く氣付きて治療を受け、治つたと誤信して棄てゝ置き、十五六歲から二十歲頃の間に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

症狀を發して來ることもあります。

一體梅氣を全治するには、短かくも半年一年、長くは三四年以上も要するものであつて、此の毒はナカナカひつこひのであります。それに一寸治療すると痛くも何んともなくなり、勞働なども平日の如くやれますから、多くは全治せざるものを全治したとして治療を怠るを常として居るが、此の毒は全治しない中は、何十年立つても消へ去らず、遺傳の力を失ひませんから注意せねばなりません。

勿論感染した五年間が遺傳の力最も強く、それからは年が立つに從ひ次第に遺傳する力が弱くはなりますが、或婦人は夫より此の毒を受け、二十年間に十九回姙娠、悉く其の子が流産、死産したと云ふ事實もあるから、幾年立ても全然遺傳の力を失ふものではないことが知れます。

而かも此の毒は子に傳はるばかりでなく、子々孫々にまで傳はる證據には、既に第八代目まで遺傳したと云ふ記錄が出來てるのであります。

●●●●記者申す　此の恐ろしき梅毒は、たまには、梅毒者の手拭に觸れたとか、握手したとかから傳染することもありますが、概して言へば、之れ程主として直接傳染の明かなものはありません。されば先づ不品行さへせれば此の恐ろしき病氣にかゝらぬものと云つてよろしからうと存じます。不品行をすると、此の恐ろしき病氣にかかると云ふ所に、計り知るを許さぬ深き神慮あることと存じます。

身體魂

文學士　桑田芳藏

◉血をすゝつて兄弟となるとか、父の血を長子にふりかけるとか云ふ樣な風俗は血液の中に靈魂が宿つて居るとの想像から起つたものである。

◎或野蠻人の間では、青年で一人前となりしもの、酋長の尿を飲むとかふりかけらるゝとかすると云ふが、之れは尿の中に靈魂が宿つて居るからソレを飲むとか、ふりかけられるとかされば酋長の如く強くなれるとの信仰から起つたものでありましよう。

◎又或野蠻人の間では、唾液をまぜて同盟を誓ふと云ふ樣なことをする之れは唾液の中に靈魂宿れりとの信仰から起つたものであります。

◎人の息に靈魂宿れりとの想像から、父が死ぬ場合、子が其の最後の息を吸ひ取る樣な風俗のある所があります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おさよ述懷（上）

速川ゆくえ

世をすて身を棄てた尼の妾に身の上話をせよとおつしやるのですか。それはこうしてこの庵に靜な月日を送るようになりますまでにはつらい恥しい多少の思出もないではありませむ。何もないお茶うけの代り。おひまでしたらまあしばらく遊むでいらつしやいませ。

　まだもの心つかない中に父を失ひましてから母の手一つでやうやく人並の乙女となりました。自慢で申すのではございませむが生れつきの愛くるしさは年頃になるに從つてあでやかに今小町おさよの名は村の若い人達のよるささはるさの噂の種でありました。暗くつめたい妾の生涯の中でたゞ其頃ばかりがなつかしくも亦美しい過去の國であります。お聞き苦しくともしばらくお許し下さい。

　けれども幸福の芽生はそのまゝに育つては參りませむでした。樂しかる可き浮世の夢をもてあそぶ殘虐の惡鬼はすでに妾達の影にそうて眼に見えぬ舞踏をはじめて居たのでございます。この上もなく妾を愛して下さつた母はある歳の夏のはじめふとした風邪の氣味がもとゝなつてとう〳〵永い事病の臥床になやむ人となつてしまいました。坐して喰へば山も何とやら。多からぬ家産がいつまで續きませう。遂には母の醫藥の代にも苦しむようになりましたので妾の細腕に看護のひまの走り使ひ賃仕事、世の常のうら若いむすめ達

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

には堪へられぬ程のうさつらさの數々が襲いかゝつて參りました。それでもとにかく村人の厚い情で絕へ絕への細い煙をつないで行つたのでございます

不運はそれに止まりませむ。妾の近所にいやないやな金貸の爺がありました。母が病氣になりましてから色々親切らしい事を言つては每日のように尋ねて參ります。けれども僅のお金を恩にきせて妾に手でもつけようと云ふ腹黑いたくみが見えすきて居りましたので母も妾も氣をつけていつも體よく斷つて居りました。そうしまするとある日の事その爺の歸つたあとで母の床の下から五兩のお金を入れた財布が出て來たではありませむか。これはてつきりあの爺が妾達の知らぬ間に置いて行つたものにちがひない。どうでもこうでもなくてはならぬ境遇をつけこむでこの樣なまねをするとは卑怯な奴。いはれなきお金をこのまゝに使つては後の祟りも如何と思ひましたので妾はとるものも取り敢ずそれを返しに參りましたのです。

行つて見ますと爺の家は役人や村の人達で上を下への大騷であります。何事が起つたのかとそばの役人に尋ねましたら今しがた賊が這入つて爺を切り殺して逃げたと云ふのです。妾はびつくりしてもつて來た財布を出してこれを返しに來たのですがどうしたら宜いでせうとその役人に見せました。えゝ全く愚な事ですけれど其の時は何の氣もつきませむでしたのです役人はその財布をひつたくつて妾の顏と等分に見比べて居りましたがやがて物をも言はずに妾を捻ぢ倒して捕繩をかけるのではありませむか妾は何の事やらさつぱり分らず。ものすごい役人の劍幕から推してなまじいな問ひ立をしては反つて損と、なすがまゝにまかせて居りました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

誕生だ赤飯をたけ

徳富　蘆化

父は九十三でした。私は父が四十七歳の末子で、私の四十七歳に父が死ぬのも一奇です。父の死を知つた其日、私が「誕生だ、赤飯を炊け」と妻を叱つて赤飯を炊かせたのも、決してたゞのヤケではありませんでした。父は私を愛してくれました。父はもとより愛の人でした。其の過失すら愛の結果が多かつた。初老に近い頃の季子、小子、弱子として、随分私を可愛がつて呉れました。孫は別、子としては恐らく私程愛されたものはありません。勿論偏愛する人ではなく、公私の別などは厳重に立てました。拘泥に近い正直、卑下に近い謙遜、遅鈍に似た、重厚、退嬰臆病の皮をかぶつて居て、まさかの時は千萬人と雖吾往矣の勇氣を出します。克己勉强は寢た間も忘れず、九十三歳の末期まで撓みなく向上の努力をつゞけた人であります。唯一つ子の私に遺憾に思はるゝは、父が或は十分の自覺を缺いたと云ふ一事であります。父は缺點の修補に忙しくして、自身の强味をよく知らなかつたかと思ひます。父の强味は克己努力のそれでは無うて、自然が父の强味でありました。父も矢張師の眼他の眼妻の眼で自分を見て居て自分の眼で自分を見なかつたやうであります。私は嘗て父に申しました。「阿爺、缺點を補ふよりも、長所を伸ばした方が好いではありませんか。」父も首肯しました。が、何を云ふても齢です。父の自覺は父の愛子によつて成されねばならないのでした。全く父は私を愛しました。私も父を愛したと申しても、僞ではありません。父に母の直覺と勝氣の幾分を加へたのが私であります。大體は父肖です。別して父の缺點と云ふ缺點は、私が頂戴してゐます。疳癪は別として、そゝつかしい事、痔疾、父の死病であつた膀胱結石、脚痛などが、他の同胞になくて皆私に傳はつて居ます。私は父の偉さを今程には思ひ知りませんでした。それは空氣の中に住む者が空氣の恩恵を思はぬ如く、父の愛の陰に育つて來た私は、父を何とも思はなかつたからであります。兄が孝行を教へました。私は最初兄に模倣しました。次に競爭しました。而して到頭負けて匙を投げました。『孝行の、お手がとゞいて、こちとらは、不幸の外に、せんすべもなし』とは、私の述懐であります。到頭父を捨殺しにする大不幸をしてしまひました。私が父に對する尊敬を缺いたのは、私が母の眼を以て父を見たからで、自分自身に對する尊敬が中々出來なかつたのは、兄の眼を以て自分を見たからであります。男の吝嗇が大目に見られた時代に、父は母に對して大分吝嗇をしました。勝氣な母が復讐の憤怒は、兄となつて生れました。其あとで逆襲的に父の子として生れたのが私であります。私共の家族は、親は夫婦喧嘩、子は兄弟喧嘩をする使命を帶びて生れて來たものと見えます。尤も前にも已に申した通り、喧嘩の目的が和睦にあるは勿論であります、

愛の人誠の人謙の人であつた父は世に犯した數々の罪を悔ひ、母と母の子なる兄に對して贖罪的に服從の態度をとりました、大酒家の父がすつかり禁酒したも、田舍好きだに出世子と東京に出て來たも、耶蘇教の洗禮を受けたも、静かな死が欲しかつたであらうに子の言ふまゝに身を任せて、逗子から青山へ、青山から病院へと連れられておとなしく死んだも、すべて己を捨て『死に到るまで順ふた』愛の發現であります。父の六十以後三十三年の生涯は、唯贖罪の生涯と申してもよい。父の後半生が妻と嗣子に對する贖罪の生涯であつた如く、私の前半生は母と兄に對する片戀の生涯でありました。

（新春より）

（記者）新春は右の樣な筆法で、徳富氏の過去五十年の歴史と、新しく芽んで來た確かな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る自覺、クリストの精神を傳へる爲めに尙ほ百歳迄生きても生き足らぬと云ふ「死の陰」から蘇つて赤裸體のアダムイムになりきつた心地ですが〳〵しく何もかもかゝれてあります

（京橋三十間堀福永書店發行、定價壹圓六拾錢）

飯の炊き方

玄米の効能

玄米の効能は今更云々しなくても既に醫學上からも食養會の主張などからも、米ぬかに偉大なる滋養分のある事は說明されて在ります。

吉井保太郎氏は實驗上非常に虛弱であつた自分、病氣持であつた私が、病氣はもとより無くなり筋肉が緊張して皮膚が脂肪でつる〳〵してきました、入浴して驚く程です、玄米を食べ出してから、以前は待兼ねた牛乳を忘れる樣になりましたし、日に一度や二度は料理屋のものを食べなければならなかつた私が此頃は副食物はでもよいやうになりました。と云つて玄米をお粥にしてもどうしてでもよいから是非皆樣に召上つて頂きたいと云はれます。

丸麥を煮る理窟から玄米でも外皮を龜裂させれば立派に御飯が煮えるわけだと云ふ考へから同氏はいろ〳〵研究に研究をつんだ結果玄米をたくのに最も適した釜の蓋を考案されました、それは保齢蓋と云ふのです。

私の家でも此程から使用して見ましたが成程此蓋で炊くと、玄米でも半つき米の隨分黑いのでも、少しも蓋を取らずふきこぼさないで蒸氣でむれてやはらかにたけます。元來飯は蓋を取れば光澤が失せ米粒がれて了ひますから商賣人は大變嫌ふ想です、昔から毎日蓋を取らないでたいた御飯のみを食べさせておくと不意の災難にあつても其の人だけはまぬがれると云ひ傳へた位です、それだけ飯に精分がこもつてゐるのでしやう、然かし玄米半つき米を蓋を取らずに普通の蓋でたきますとばら〳〵に強くなつて了ひますし肝心の滋養になる所はおればにして出して了はればなりません、さうかと云つて蓋を取つてたいてはじく〳〵してお粥の出來損ないみたいになりたがりますが、保齢蓋ですとふき出もしないがこげつきもせず不思議によく出來ます。

水加減は略普通でよろしい、吉井氏の實驗から、白米は指三本玄米は指四本（米の上に水を入れる深さ手を立てゝ藥指中指人さし指）でいいといふ事です。玄米半つきに限らず、麥飯豆飯雜こく何でも白米と同じく煮えます、小豆飯でさへ白米と小豆と同時に入れてたけますが、これは只色のつきが惡いので、先づ別に小豆だけを湯煮して煮立ちたる所へ白米を入れるとよろしい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の健康に有効なる杖術

江木榮子

私は數年前から柔術や半棒を稽古いたして居りましたが、半棒はもう奥許しを得て上げて了ひました。半棒と申しますと三尺の棒を使ひますので、これは特に婦人に最もよい手を山邊先生があみ出しになりましたもので、主として婦人に限られて居りますが、此頃私のいたして居ります杖術は婦人に限りませんが、私は是非に婦人にこれをお勸めいたしたいと思ひます。以前は始終病氣勝で一月の中半以上は臥つて居りました私も半棒を始めましてから漸々健康が勝れて來ましたが、又此杖術によつてすつかり丈夫になつて了ひました。只肥えたと申しますばかりでなく、この通り筋肉が堅くなりました。先日も西洋婦人が參りまして、私の筋肉を見てとても四十の人の筋肉とは思はれないと申しました。其婦人は夫が戰地に出て居ります間に日本武術を研究して歸るのだと云つてゐられました。あちらの人は其心掛からして違ふではありませんか。

（杖術の棒は半棒のより太さもずつと太く長さも一尺ばかり長うございます）

これを振り廻しますのですが、初段ばかりも十二型ありまして、其型の一つ丈けでも大變に手があります。それに先生が中山博道先生で御座いまして（道場をお開きになつて御出でになりますが二千人も御門人がおありになります）先生がお偉いので、訓練の仕方が違ひます。それこそ油汗がだく〱出て參ります、この通り電氣の笠もメチヤ〱に毀して了ひます、その代り其の後の愉快な事と申しましたらありません、これをいたしますと本を讀んでも字をかいても根が續きまして、少しのあきも來ません、兎に角私はこの頃の樣

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に愉快で〱面白く樂しいと思ふ事はありません、これは全く杖術のお蔭だらうと存じます。杖術は所謂杖の術で、年を取つても出來ます。

普通いたします時間は最初十五分から二十分乃至二十五分で結構で御座います、私は馴れましたから四十分位します、お蔭様でやつと中段になりました。

既に上流家庭には弓とか杖術とかは大分入つて居ります様ですが、私共のやうな中流のものが割合に眠てゐるのではないかと思ひます。又お若い方は學校で體操をなさつたり、外出して運動もなさいますが、中年以後のものが不精になり易く、健康も衰へますから私は中年以後の御婦人に切にこの杖術をおすゝめしたいと存じます。

關西地方では婦人で武術を勵まれる方が大變盛で御座いまして、十六七の令嬢が武德會へ出てエイッーと響ある聲を出して勇ましく仕合をなさると云ふ事で御座います。又園部女史などは五十の御婦人でゐらつしやいますが、其御婦人が男子を御敎訓なさるのに仰しやる事が全く違つてゐると申します、私もそんな偉い御婦人に薙刀でも敎へて頂きたいと思つて居ります。

以前は京阪地方の婦人と申ますと、化粧と衣服とのみに腐心してゐる様に思はれてゐましたが、只今では反對にあちらから參りました人が驚いて居ります、大きな風呂敷包を持つて電車に乘つてゐる人がこて〲とお化粧をしてゐる、昔ならば何もしない人のする様なお化粧振だと申しました。

それはお化粧も身嗜みとして一通は必要でも御座いましやうが、よい加減の年輩をした婦人が一寸外出するにも半日もかゝつて髮だの化粧だのと人にして貰つて行くと云ふのは今日の時世として如何なもので御座いましやう。私は關西地方の御婦人の武術にお勵みになる事を聞きまして悔しくて〲堪りませんでした。どうかこちらの御婦人にも武術を御奬勵いたしたいと思ひます。武術と申しましても、何も人に勝たうなどと思ひますのは間違で御座ひます。昔の武家の婦人等は必ず武術の一手二手位は心得て居りましたものです

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が、今の方は婦人が武術などと申しますと、さもお轉婆の樣に思ふ方も御座いますが決してさやうなものでは御座いません却つて姿勢が優しくしとやかになるもので御座います。兎に角私は護身用と申しますよりは健康の爲めと修養の爲めに奬勵いたしたいものと存じます。やがて一寸した道場でも建てまして婦人ばかり集まつて修業いたす樣にもいたしたいと思つて居ります。

前にも申します通り關西地方では武術に勝れた御婦人が澤山おありになりますがその重なる方は兵庫の園部女史を筆頭に熊本の三枝辰子、京都の吉田きぬ子、兵庫の藤原菊枝、京都の村山アイ、福田有知子、本部の鳥山きん子、飯尾ワイ子、美田村千代子女史などは何れも薙刀の達人で御座います。

晶子懷紙千首會

氏は自作の歌千首を懷紙に一首づゝ認めて、同好諸氏にお頒ちになります。一口五圓で懷紙にでも短册にでもかいて下さいます。それは近く詩歌及び婦人問題研究の雜誌發行の基金に當てられるのですから、直接麹町富士見町五ノ九同氏宛申込んで下さつてもよろしいが、氏は今度私の企てました女子修養塾に御贊成御援助下さいまして、御執筆下さいますから、本社へ御申込下さつてもよろしい。氏の書は歌と同樣天才歌人にふさはしい風雅な一寸他に見られないものです。紫式部、淸少納言の書が今日御座いましたら此上なく珍らしく尊い樣に、いづれは後の代までも記念されるのです出來るだけ多く世にのこされん事を私は切望いたします。

若き友へ　（與謝野晶子著）

著者が『この十年間に私の公にした五種の感想集と此の書との少しく異る所は、此度の大戰に由つて激成せられた世界の思想の變革の中に在つて、私達日本の婦人は如何なる覺悟と實行とを必要とするかと云ふ問題に就て、あらゆる方面から私自身の管見を一般の若い婦人達に提供した點にあります。この實際問題は皆さんと共に最も熱心に研究したいと思ふ所です』とかいてゐられますやうに、此書に於ては以前の著者のかゝれたものよりは、ズット實際問題を最も廣き理解を以てかゝれてあるのに驚きました、一々紹介の餘白が御座いませんが是非皆樣の一讀されん事を望みます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中年男女の健康法

西川光二郎

中年男女の健康法として申上げたいことは、色々あるが、其の中最も大切なるは

過食するな

と云ふことであります。

過食が元で胃腸を害し、それから諸種の病氣に罹るに至るもの、幼年者、老年者の中にも、少なくはないが、其の最も多きは中年の男女であります。何せ中年の男女が最も多く過食から健康を害するに至るかと云ふに、中年時代にはまだ胃腸は青年時代通りの強さで居て青年時代同樣に食べても、何等の苦痛をも感じないが、併し中年時代の身體は、もう發育の時代を過ぎた身體であるから、青年時代の身體程の滋養分を必要としないのである、縱ひ無事に消化はしても、必要以上の滋養分を腹に入れる所より、ソレが災の種となるのであります。

ソレに大概な人は、中年時代には青年時代よりも身分がよくなり、金錢が自由になる樣になつて居るから自然餘計に御馳走を食べる。生理上から云へば、青年時代程養分を要しないことになつて居る身體へ、同量の食物を入るるばかりでなく、而かも其の質から云へば滋養分の多い美味を入れることであるから、勢ひ滋養過度で苦しまねばならなくなるのであります。

或人が「中年者にとりては酒の害よりも、恐るべきは過食の害である」と云はれたが、如何にも左樣であります。

されば中年の男女は、何によりも重大事であるとして食慾を制限せねばならぬ、併しイクラ注意をしても

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

過食する恐れがあるから、時々一食二食をぬき、若しくば一日位づゝの斷食をする必要があります。之れさへ注意して居れば大抵病氣にかゝることはありません。

次に大切なることは

時々家庭より離れよ

と云ふことであります。

之れは中年の男子にとりても必要ですが、わけて中年の婦人には必要であります。中年の婦人は、其の一生の中最も家事に勞せねばならぬ時であつて、其の爲めに中年婦人に神經衰弱が多いのであります。これを救ふには、時々中年婦人が家庭を離れて、全く變つた境遇で、全く變つた食事をして休養するより外に、道がありません。

よく一家族で轉地したり、避暑したりするものがあるが、夫は休養にも何にもなるものではありません。

第三に申したきは

腹筋を強くせよ

と云ふことであります。

腹筋が弱くなると、胃や腸が下り、從て下腹が下つて來る、下腹が下ると便秘其他種々の病氣に罹るから、腹筋を強くすることを怠つてはなりません。

さて腹筋を強くするには、毎日朝夕二回位づゝ仰臥して、手足を充分に伸して一直線になり、兩足を上げて下ろす勢で半身を起し、兩手が伸ばした足の爪先へ屆く樣に身體を屈める。之れを幾度もやつての後、今度は仰臥せる腹の上へ兩足を屈めて持て來て、兩手で膝をかゝへ強く腹を壓迫する、之れも數回繰り返すのである。この運動を朝夕數度づゝやつて居れば、次第に腹筋が強くなつて來て腹がしまつて參ります。深呼吸も腹筋を強くする上に大切であるが、過つてやると之れが胃腸を垂下せしむる原因になるから注意せねばなりません。

第四に申したきことは

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

運動を適度にせよ

と云ふことであります。

運動不足も無論よろしくないが、運動過度も同様によろしくないのであるから、中年の男女はよく自から考へて、自分の健康の度に適した運動をすると云ふことを心掛けて居らねばなりません。

老年者は、もう無理をせよと云つてもせぬが、中年者はまだ無理をしようと思へば出來ますから危ない、注意せねばなりません。

尚ほ申したいことがあるが、細々したことは略しておきます。

主婦の心得べき事

買物の仕方

都會に居住せる者が、副食物を買ふ場合などには、第一に其の相場が主として入荷の都合で變動することを心得て居ればなりません。卽ち豆類でも、芋類でも、大根類でも、何んでも荷が餘計に入れば下り、入荷が少ないものは下らないのであるから、今日は何々を食べようと、コチラから定めてかゝらず、八百屋なり、魚屋なりの店頭に立ち、値を聞いた上で其の日〱の副食物を定め、割安のもの、割安のものと選びて用ゆると、甘いものを格安で食べられます。

（記者）

家庭に於ける能率増進の大眼目

臺所で瓦斯を使ふ場合の事を想像して假りに卵を茹でるとするに多くの主婦は卵の茹であがる時間の考へが無いから鍋の中を覗いて見たり、箸で引上げて見たりして非常に煩雜な事をする、然るに西洋の家庭では五分卵、七分卵と稱して置時計を備へて時間になるとチンと鳴る時計と共に火を消して仕舞ふ樣に出來てゐる、これ抔も能率增進の一方法であるから日本の家庭などで飯を焚く時に枕時計でも臺所に備へ付けて置いて一定の時間を測り置いて時計が鳴つたらスグ火を消すやうにありたいものだ、又洗濯をするにも米國などでは二寸四角の針金製の箱をつくり石鹼を入れ洗濯水の中でよく攪拌せて洗濯水を拵へそれで洗濯をするに對して日本では多く布に石鹼を塗りつけゴシ〱やつてゐるのは甚だ不經濟ばかりでなく布の全面に石鹼が行亙らず從つて洗濯の効を十分に甄せぬといふ事になる、要するに日本の家庭でも今少しく機械若くば器具の力を利用するやうに工夫を凝らし、人が仕事をするのみでなく機械それ自身に仕事をさせるやうにするのが家庭に於ける能率増進の大眼目である。（岸邊福雄氏）

鳩豆飯の實驗

鳩豆卽ち豆粕を米に混ぜて食べると德用だと云ふので、やつて見ました。別に食べにくいものではありませんが、別に甘いものでもありません。米に入れて何の差支もありませんが、併し豆粕は釜殖がしませぬから、餘り經濟にはならぬ樣です。それよりは外米と日本米と麥とを三分の一づゝ混じ食る方が經濟であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發車まで（一回）

東大寺太代

南總線の終點に近い其處の停車場へ、良々息を喘ませながら這入つて來た瑞枝は、構內へ入つてからも步を止めず、ずつと改札口の眞上に掛けられてある、動かぬ時計を凝然と仰ぎみた。それと氣がつくと心持頰を染めたが、でもすぐ元の蒼白さにかへつた。濃い眉が際立つて平靜でない今の氣分を語つてゐる。

瑞枝はほつとした風に小形の白金らしい時計を帶の間に納つて、擦り寄つて居る短い下髮の女兒を顧みた。

「掛けませうよ、苦しかたでせう」

つる〳〵と異樣な感觸のする凍傷の甲を、恁麼時でも深く注意して、極めてそつと把りながら、一緒に板の腰掛へよつた。

「おゝ苦しかつた、でもよかつたわねえ、母さん」

「えゝ」

「ねえお母樣、私ね……」

良ちやんは放された心持にこの歡喜が洩したかつた。それは何から言つてよいか、分らないほど言ふべき事が支へて居た。母の面に何が描かれて居やうと、其れを見る隙もなかつたのだ。が不圖覗き込んだ瑞枝の嚴肅な目色はこの無頓着な良ちやんの言辭をさへに澱ませずには置かなかつた。

數へ年九歲の良ちやんを恁うまで敏感にした教師は父でもあり、母でもあつた、眞實彼等姉弟は何故だかこの一二年といふもの笑ひ倒けるやうな父母を見た事がない。多くは別々の室で父に會ひ母に會うた。兩親揃うた食卓で賑やかな食事の時を有つた事がない——良ちやんが十幾年の後に若し其事を考へる樣な時が來

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はせぬかと瑞枝は恐れても居る。それに良ちやんは夏休みが濟んで、兄さんが歸京したのに、お友達のある學校へ歸ることが能きない。たゞお母さんが自分と一緒だといふ事だけは心强かつた、けれども、日に日にさびれてゆく避暑地の秋ほど寂寞く、悲哀しいものはない、しく／＼泣いて其たよりない涙を舌の先にのせてみたほど、良ちやんには堪らないものであつた。其上夏のうちにはさほどにも感じなかつた燈といふものが日の詰るにつれて薄暗く、危險つかしく、濤聲の激しい宵などは三つの洋燈のどれかゞ倒れる、ぱつと燃え上る、枕屏風が焔を吐く、何故だか其麽氣持がしてならない。も一つの苦痛は、二週間ほど前から通學しだしたこの地の學校の事であつた、どの兒もどの兒も近づくとプンと臭氣がする。其漁師の兒と手を握つた後の心地惡さ！　宅へ歸ると鞄など投り出しておいてお湯殿へ驅け込む。水！　水！　と自分にも我儘らしい聲を肯定しながら、お母様の好い香の石鹸で手を淸めなければ氣が濟まなかつた。其穢らしい自分の手を洗ふまでのつらさを、幾度か乳母には訴へたけれども――それを直接母に告げることができない。どうしたものか母にそれを訴へる折がない。別莊が厭で堪らなくなつて來た大きな原因でなほ其他にあらうとは、少ない良ちやんには一寸思つけなかつた。

良ちやんはちらと母の目を見た、それは何といふ奇妙な現象だらう、自分にこれほど樂しく歡ばしい歸邸の事が、些ともお母様を慰める事にはならないのかしら、『それなら私だつて歸らなくたつていゝわ』と不興げに、そして悲しくなつて來た。

「良ちやん綺麗ですこと……」

「まあ、美麗ね」

子供の惱みは矢張り淡いものであつた、頭上にある殘月の光よりも輕く今考へて居た念は絹の樣な朝靄の中へすつと消え失せた。それほどこの早曉の靄は深く其邊あたりのものに化粧を加へて居た、プラットホームの殘燈には一ゝ白絹が被せられて居た、すぐ傍の交番の赤硝子の燈が良ちやんには殊に面白く觀せられた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のである。糠雨の樣に濃霧は打煙つて來た。

「寒かない？」

細い一筋路を一目散に駛けつける大きな男を茫然ながめて居る我兒が、今更不憫でならない、室内でゝもあれは頰ずりでもしてやりたいほど胸が硬くなつて來た。瑞枝はそうした面を子供に見られまいと、つと後方へ廻つて被布の襟やリボンを正してやるのであつた。子供は薄ら寒い乍らも、旅するものが陽の微光を望みえた樣に母の行爲を喜んだ、其可愛らしい唇がすぐ電光のやうに機會を執へた。

母と子とは眸を合せて微笑つた。良ちやんはまだ十分一も語つて居ないけれども、もう滿足して了つた。聰明なお母樣には私の心持はすべておわかりになるのだ……と、でそろ〳〵發車の遲いことを氣にし出した。

瑞枝も、最早何にも考へまいと決心した。刻々に時の移るといふ事實は恐ろしい事には違ひないけれども、何もそれが今日に限つた事柄ではない。とは言へ十二月七日といふ今日の正午と夫から指定して來たこのお晝は自分にとつては多分記念すべき時となるであらう……なにがしの妻ではなくなつて了ふ。然して一人の無職業者として、どうでも斯うでも世の中とやらへ出ねばならぬ。最早徒然としては居れなくなつたのだ。或はよい事かも知れない、惡い事かも知れない。とにかく大きな意思から下された繩の端を幾時間かの後には摑まねばならない。その繩を帶にするか襷にするか、それとも其繩を逆用して我が動脈を停めて了ふかは今は解らぬ。たゞ今となつてはよいにしろ、惡いにしろ殆ど確定して了つた事なので、これが運命といふものなんだらう。其繩の一本を把握ることが無氣味だからといつて、此列車に乘らぬとするとも、離散しきつた夫妻の心の花瓣が、また元の鞘へ還るものではあるまい、そして瑞枝自身もまた其麼不自然な事を望んでは居ない……。だのに、だから何にも恐怖すべき筈はないのである。ではこの微動は何であらう。昨日もそれを考へてみた。解らない、自分の事は最も解り、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

難いものだ。瑞枝は中古の女だけに容易に結論を急ぐ。何だか世間に對して愧しいといふこと。それから生活、生活といふ激烈な言辭に對する臆病、それも理由には數へられる。妻といふ職業——瑞枝は決して其う言ひたくはないけれども——を離れると直ぐに襲うて來るのが此の生活といふ壓力である。仕方がない、これは僞り切れないほど切迫した事實なんだから：：：睡眠不足の艶のない廣い額つきが、この女を年齒よりも老けて、三十四五に映せて居る。添毛をも加へぬ頭髪は極めて細いしなやかなのだから、結べば屹度引立つのだらう、黒くもあるのだけれど、束ねてはひどく見窄しくそれにおくれ毛の佗しさが窶れた身の上へ埃を吹きつけて居るやうである。

　ほんとうに結婚だの離婚だのと數字の上から言つていけば十が百になつたからとて、冷たい月齒の影響ほどにも當るまいが、かうして成長ちつゝある良ちやんの母としては息の詰る念のするのも尤もな事であらう死體に觸れた事のない人が、あのべつとりと冷たい皮膚から慘み出る死人の苦惱を想はぬが如く、瑞枝も今日の今まで本當には考へなかつたらしい。

　人知れず永年懊惱して來た筈なのだけれどすべては令夫人的な空洞なものに過ぎなかつたらしい。思へば彼も同じ運命の覊絆に結びつけられた影の薄い道件れなのではなかつたらうか：：：。

　ともかくも其道件れであつた二個の人々は今日縛を解かれる爲に相よるのである、あるひはこれが所謂最後の會見とでも言ふのであらう。（五月十二日）

▽豌豆めし　剝豌豆三合をよく水洗ひして一升の米と混ぜて釜に入れ鹽大匙一杯位加へて普通の水加減にして炊き上げます。

▽路の落花生和へ　ふきを茹でゝ皮をむき、一寸位の長さに切りよく水氣を去り鹽酢に入れて洗ひ、煎つた落花生の皮をむき、擂鉢でよくすつた中へ、砂糖、醤油、酢少量を加へ、西洋からしを湯で溶いたものを加へてよくすり混ぜ其中へ蕗を入れて和へます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

三日記者（中）

高橋千代壽

「新しい女とは、自覺した女である」

彼女はかう自分で心の中に定義を下すと、さて徐々に兩人の言に耳を傾けた。

「まあ遣つて御らんなさい」渡邊は自分には無關心だといつた風に、多くを云はず唯笑つてゐた。岡本は

「そりあ貴女は墮落せぬといふ自信があるでせう、けれど僕は前例を見ますね、婦人記者の末路は大抵確定つてゐますよ、豈夫パンの爲にやるのでもないでせう、僕等にした處でかうして交際する以上惡評立てられぬ貴女の方が好いですからね」

「私ね墮落せるかせぬか試しにやつて見樣かとも思ふのです、それに晶子女史の力說してる婦人の經濟的獨立ですね、それを實行して見たいのです」

「それならお止しなさい、墮落するかせぬかそんな危險なことをするより安全な道をとつた方が好いですよ、今假りに一月なり二月なり記者を勤めたとしますね、其後と今とは貴女の心理狀態に大變な差がありますよ、良人に對し子供に對し…………」

「無論今迄通りの柔順な妻ではないかも知れません」

「良人の顏にもかゝりますよ、まあ兎に角御相談おしなさい、併ね知るといふことは進步ですから無理に止せとは云ひませんよ」

喫みさしの敷島をはたと灰落しの緣ではたくとばらぱらつと亂れ落ちる灰に交つて小さい火の子の飛ぶのを物珍らしさうに淸子は眺めた。勿論彼女は本氣で記者抔にならうとは思つてゐなかつた。初めは好奇心からであつたが、今では突飛と珍奇とを好む社會の爲に何か自分のかく方の材料を得やう……それが何よりの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目的であつた。けれどそんなことは噯にも出さなかつた。自分の意志を尊重する良人の干渉する筈はなく、差詰留守居を如何にせんとそれのみに彼女は心を悩ませた。

「そりあ面白い是非お遣りなさい」

近視眼に眼鏡もかけず、まぶしさうに清子に向つてから受け應へしてるのはKといふ早稲田の學生であつた、南を受けた二階座敷は、羽織を重ねた清子には汗のにじむ程の暖かさであつた。

「皆が墮落するから止せつていふんです」

「墮落しちや貴女といふもの丶價値がないぢやありませんか、貴女には立派な御良人のあることも知つてますし又生活の爲になさるのでないから僕は御勸めするのです、若し生活の爲になさるなら貴女の人格を傷けますから、お止しなさい」

「まあKさんそれぢや若し貴下の奥さんだつたらどうします？」

先刻から兩人の會話を側で聽いてた此家の妻君は、初めて氣が付いた樣に横合から口を入れた。

「大に遣らせますね、働く時間と腕さへあれば」

止せといふ一方からはやれといふ、物事は見樣によつては善も惡に見えることがある。と清子は思つた。自分は會ふ人毎に相談を持ちかける、けれど決して他人の言に左右されやしない、自分は何處までも自分の意志でやつて見せる、かう力んで見たが矢張ともすれば、其場々々で他人の言に支配されさうであつた。

「では御願ひしますよ」

「エ、畏りました」

彼女は留守居を依頼に來たのであつた。

歸途つい近所に住む親友の門を潜つた。友は清子を見るなり挨拶もせずに小言を云つた。始終を岡本からきいてゐたのであつた。友は岡本の義姉であつた。妻が職業を持つといふことは良人を侮辱するものである。婦人記者になるより家庭で内職した方がよい、それで生活出來ねば死ねとは友の御良人の御意見だつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。清子は單なる感情論に過ぎぬと思つた。

「何故良人を侮辱するのだらう……？」

と彼女は疑はざるを得なかつた。鸚鵡返しの友に說明の出來つこはなかつた。が、畢竟良人の獨立權を浸害するといふ因習に囚はれた說であらう。一家の主權者たる良人の權限を犯し、名譽を傷けるなら無論侮辱に相違ないけれど、良人は何處までも主權者として尊重し、位置や名譽を傷けず妻の就職によつて經濟的に利益を增進し共々幸福を得ることが何で侮辱だらう。夫婦は互に扶養の義務を負ふとは民法にも制定されてる處である。婚姻共同生活の本質及其成立の動機目的より推して寧ろ奬勵すべき行爲ではないだらうか、而も其結果にして夫婦相互の利益幸福を增進する點に於て人生の目的を貫徹し、反射的時代去つて自覺的進步的現代の要求し且つ讃美する所爲だと獨斷かも知れないが清子はさう信じてゐた。妻より經濟的に幇助さるるを侮辱と心得る男は妻を高等下女、或は玩弄物視する男である。彼女はかうも考へた。又死ねといふことも死は易く生は難しと昔より云ふ如く、死は凡ての苦痛を免る。死の苦痛は一時である、生の苦痛は生命の續く限り永遠である。永久の苦痛に耐えないで、一時の苦痛に走るといふことは人間としては卑怯である。死よりも辛い生活でも生きて行くのが人生の原則ではないだらうか、自分達は自分の生命の尊さを知つてゐる。そんな安つぽい生命ではない。

清子は御良人に直接なら議論の仕榮えもあるが、友の御對手は大人氣ないと、溫順しく傾聽した。

「これまで貴女を非常に信じてゐたんです、けれど今となつて、記者になられたり、高山さんと交際されるとあんな方々と同類に思ひますよ」

友は倘語をついだ。

「中年女の戀といふこともありますし、いくら貴女が理性が勝つて被居つても、墮落せぬとは限りませんからね」

おや、又初まつた、友の談話は悉く良人の口より出たものであつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「憚り様、清子はあらゆる時、自分の位置、境遇、責任等を心得て居りますよ」

咽喉まで出た言辭を、やつと口元で嚙み締めた。友は眞實に清子の幸福を祈つて忠告してるのだか、妬けて言つてるのだか、彼女には不明なかつた。節操丈けは別問題として知識階級の女としてなら、高山女史と同類に見らるゝのも結構だ――彼女はさう思つた。

成程職業婦人は男に接する機會が多い、殊に記者はさうである。だから墮落の恐れがあると他人はいふ。併し墮落する女は若い獨身者に限定されてやしないだらうか、……それは愛を集注すべき中心人物がないのと、又一方男の方も良人あり子ある婦人に對する如く遠慮しない、遊戲的に巧言を以て誘惑する。いかに頭腦明晰の女でも感情の燃え立つ時代には、年増の凡人程も理性は活動しない。

「ねえ、西川さんにしろ羽仁さんにしろ立派に成功してるでせう」

「さうね」

「事實が證明してまさあね、事實は何處までも眞理ぢやありませんか」

「だつてあの方達は特別よ」

婦人記者――それを墮落女の代名詞と意識してる友もこれ丈は否定することが出來なかつた。が、清子の才能を認めつゝも無論比較問題ぢやないと友は思つた。

岡埜榮泉

旅行は
上野のステー
ションから
お菓子は
岡埜の
榮泉から
お土産にも
御茶菓子にも

電話下谷一九五二番
下谷區（岡　埜）上野驛前

縁

（中）

山本勇夫

戀愛の件はない、結婚はいけない。自身ではさうした新しがりの主張をしてゐる弟と、舊式一點張の母とが、あり來りの仕方で探してゐる、倉田の嫁に丁度いゝのが中々なかつた。――有りさうでゐてさあゝなると、さて無いものだ――と、二人は言つてゐた。何うせ碌な者の來る筈がないといふ考へを標準としてゝあるが、二人は候補者が見つからないのに困つてゐた。來る度び毎の倉田の顏にも緣談を待つてゐる色が見へてゐた。てんから倉田の嫁の件にはかゝり合はないやうにしてゐる私にも、二人から時々相談がかゝつたりしてゐた。

『花ちやんは何うだらうね?』

母から私がさう問ひかけられたのは、また新らしく來た女中に行つて了はれたと、倉田が話して歸つた日の夕方であつた。

『さうだね、いゝかも知れないね。』

私の考へも母の思惑と違つてはゐなかつた。

『あれでも一人娘なんだが、あの娘もいつか「早くお嫁にでも行きたいもんだ」なんて言つてたから……行けるのかもしれないよ。現在は惡くなつたからつて、まさか倉田の方があすこよりいゝからね。』

『きつと喜んで遣るだらうと思ふが、あすこでは倉田の家で何うだか。』

『倉田だつて、贅澤も言つてゐられないだらうから。』

雙方の親たちの思惑なぞを考へた私と母は、髮を結つて、お白粉でもつけた時は、ちよつと美く見へる容貌であるの、氣立もよさゝうだのと、お花のいゝ點はかりを拾つたりして見た。役所から歸つて來て、母の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思惑をきいた弟も、

『あゝ、あれなら丁度いゝだらふよ、どつちも知つてゐる面だから。』と、さう言つてゐた。さうして、倉田の意向をきいて見る役が私にあてられたので、私は倉田が來るのを面白半分で待つてゐた。

しかるに倉田の意向は違つてゐた。

『あれぢやあ酷いやあ――』

翌晩遊びに來た倉田に、それとなくあたつて見た私は、さう言つて苦笑した倉田の態度に出逢つたので、口を噤んで了つた。――贅澤を言ふなッ――と、さう思つたので、その上切込んで彼に語るのがいやになつた。

『…それでも倉田さん！ 家はよくないが、當人はいゝものなんですよ。病人のお母さんが有るんですから、氣立のいゝ娘で無ければいけないんだから…。』

母は倉田に訓へるやうにすゝめた。が、彼はもじもじ爲てゐて良いも惡いも返答しなかつた。

『まあ良く考へて見給へな。』

弟に言はれて、倉田が歸つた後で、私等はいろんなことを語合つた。――慾を言へば誰にしても限りはないが、現在の自分を彼として考へないことには――と、さう言ふ意見が衆の口から話されてゐた。すこしたつてから『彼奴によりか、兩親の方に掛合つて見やうかしら』と、さう言つて、倉田の家に出かけて行つた弟が、間もなく歸宅すると、病人に對して親切らしいお花のことを、母親が大へんに惚込んだらしかつたと、私と母に話してゐると。あわたゞしい下駄の音をたてゝ、また倉田がやつて來た。さき程からびしよびしよ降り出した雨に濡らされた袂を氣にし乍ら、

『當分の間、お花さんを手傳いに賴まれまいかつて、うちで言ふのですが…。』

倉田は私の母の意向を探ぐるやうな眼付をし乍ら言つた。

『つまりお母さん！ よければ嫁になはさうと言ふ考へなんだと。』

弟は傍から倉田の言葉に足した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『さう、それはいゝだらふ。』
母は自己れの意を得たと言はぬ許りに同意した。けれど私は母と弟が事件を輕く取扱ふらしいのを見かねて、
『併しそれは考へもんだせ。』
と、二人を抑へた。
『何うしてさ。』
弟は怪訝さうに振向いた。
『だつて君、嫁にやる貰らふといふことを、雙方の親がよく得心してからでないと……若い者同志のことだからもし間違ひがあつたりしては後で苦情でも出たら困るだらう……』
倉田の顔をじろ／＼見乍ら、私は言つた。
『ご冗談でせう。』
冷笑かされでもしたらしく思つた倉田は、きまり惡さうに笑つた。
『君と來た日にやあ劔呑なもんだからな。』
私は冗談にまぎらして笑つた。
『そんな心配はいりませんやね。』
母はとりなし顔に言つた。
『えゝ大丈夫ですとも、近頃は眞面目なもんですから』と、言譯した倉田は『ねえ君！』と、弟の應援を借りやうとした。
『……』
弟はどつちつかずの微笑をたゞえてゐた。
それでは、とも角もお花の家にそのことを掛合に行かうといふ段になつた。が、私と弟がお互に行くことをきまり惡がつて、なすり合つてゐてはてしがないので、滅多に外出しない足を母はお花の家に運ばすことになつた。
『ほんとうに濟みませんね。』
母を送り出して、障子を閉めた倉田の音調に、心からの感謝の色があふれてゐた。三人は思ひ思ひのことを考へ乍ら、默つて同じ様な心配顔をして母を待つてゐたが、中々歸つて來なかつた。――中々遲いな――と、一人一人の口から出て了つたが、まだ歸らない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本店 嘉義廳太子宮堡新營庄

鹽水港製糖拓殖株式會社

出張所 東京市日本橋區吳服町

□御家庭で
簡便に出來る……

富士印アイスクリーム製造機

風味佳良、冷水少量、凝凍迅速、（目錄進呈）

發賣元 東京市淺草橋際 阿部彦四郎商店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋大學教授　境野黄洋先生著

天台四教儀講話

和本全一册
定價壹圓五拾錢
送料金八錢

佛教哲學の最高潮に達したるものは實に天台哲學なりこの高遠深邃の天台哲學の綱要を撮り簡明に説き得て一句の剩語無きもの實に天台四教儀となすこれを以て古來大乘教の精髓に味到せむと欲するもの必ずまづ本書に依る境野先生多年教授の實驗を基としてこの講話を著はし初學の人をして尚且つ五時八教の大觀一念三千の玄理に於て眞に掌を指すが如き思あらしむ

境野黄洋先生著
八宗綱要講話
定價二圓 郵税十二錢

加藤咄堂先生著
原人論講話
定價六十錢 郵税八錢

加藤咄堂先生譯
和譯維摩經評註
定價七十錢 郵税八錢

境野黄洋先生著
佛教史論
定價一圓卅錢 郵税八錢

東京小石川區原町 振替東京一五八六八 丙午出版社
東京小石川區原町 振替東京一三五三 鷄聲堂

釋宗演師序　日種讓山師序
文學士　醍醐惠端師新著

趣味と研究に基る
新刊
初版賣切
再版發行

佛樣の戸籍調べ

出た!!

佛敎界空然の奇書 阿彌陀も文殊も釋迦も觀音も總じて壹百餘佛の親子兄弟は元より品行性質等に至る迄遠慮なくサラケ出し骨を刺す如き皮肉の中に該博なる研究がある引書數百卷梵語を挿入し出據を明にし而も奇拔で滑稽 眞佛樣も今頃はクシャミの最中、讀んだお方はおへその宙返り眞に破天荒の快著なり、敢て天下萬人に一讀をすゝむ。

四六版上製優美全一册
珍趣禪味色刷口繪十頁
定價壹圓拾錢送料八錢

柿花啓正君著

自然と人生と國家

最新刊

內外目次の一節。

自然と一心。人生の妙味。新生の宗教。文明的病魔。信念と健康。浩然の氣力。日本の使命日本の準備。大疑問發見。世界の政治。各國の神靈。宗敎は唯一「研究の權威。表現の光輝。靈妙の日本。日本雄大の思想。外百餘項

四六判上製函入美本
定價金七拾錢稅六錢

藥學博士 理學博士 長井長義先生著

近刊

安價
保健

食物の營養と調理

本書は時代の要求に應じて生る。物價暴騰に就いて如何なる食物を撰ぶか然して安價に美味に衛生的に調理法に至る迄懇切に說述。

四六判上製函入美本全一册
定價壹圓廿錢
送料八錢

發行所　東京神田錦町一の十六　振替東京第三四〇九番　二松堂書店　電話神田二四七八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

特許 玄米炊飯器 保齡蓋

をお臺所に御使用になれば玄米が白米より美味に召上がられます。其他外米丸麥小豆飯等を混合して一度に炊き上がります從來の如き別々に煮炊きする必要なし滋養と經濟と國益を重んじ本器を御買求の上お臺所の革新を計られたし（市內配達無料）

價格表

		錢
金屬製	五升	尺一 450
	四升	尺〇 400
	三升	九寸 370
	二升	八寸 330
木製合金	五升	尺一 350
	四升	尺〇 270
	三升	九寸 250
	二升	八寸 230

（外ニ附屬品付）

釜元製品ニ依テ釜ロノ直徑ニ相違ガ有リマスカラ御注文ノ節ハ必ズ口徑金尺又ハ鯨尺ニテ何寸何分ト御申越シヲ願フ

六升以上ハ特製トシテ調製ス

市內ハ遠近ニ拘ハラズ御用命次第店員ヲ以テ配達ス其ノ他ノ地方ハ實費送料ハ御負擔トス或ハ鐵道小荷物又ハ小包郵便ノ代金引替ハ御便宜ヲ取ハカライマス

永年御使用上若シ御破損ノ節ハ何レノ地ニテモ修理差支ナク出來ル完全ナル製品デアル

炊飯ノ明細書ハ本器御購求ノ節添附ス

製造發賣元 東京市下谷區龍泉寺町三十七 翁商會

栃木縣一手販賣店 栃木縣下都賀郡南犬飼村國谷 渡邊一郎

金もいらず場所もいらず女小供にも すぐ出來る衛生娯樂兼備の好仕事は

白松鶏庵著 萬家福樂 五羽養鶏 好評如湧!!

中版美本 總振假名 金四拾錢 送料四錢

東京京橋南傳馬町 有隣堂 電話京橋一〇五五 振替東京六六九六

腦神經精神病

院長 ドクトル メヂチーチ 齋藤紀一 月水金

醫學士 田澤秀四郎

同 齋藤茂吉 月、木

腦神經衰弱 リンチヤ氏液注射日

電話 芝 二六六五 二六七四 特長 二七四五

東京市赤坂區青山南町 青山腦病院

府下瀧の川 田端 東京腦病院 電話下谷二二〇二番

外用 一二三 常備薬

ひふみ

主治効能

●田虫●水虫●糸かせ●いんきん●切傷●霜やけ●火傷●諸毒虫南京虫の螫傷●がんがさ●下疳●ひゞ●しつ●しらくも等に特効あり

定価 一家庭徳用 一圓
大 五十錢
中 廿錢
小 十錢

實効散本舗
東京神田明神下
師岡天然堂
振替東京一三七二

各地薬店にあり品切の際は本舗へ郵券代用外に送料二錢を要す

産科
婦人科

篠田病院

（入院随意）

女醫 篠田せい子

本郷區丸山新町

電話小石川二一九

リウマチス

難病にてあらゆる療法効なくお困りの方は郵券三錢封入申込まれよ不思議に治る神秘靈藥を御知らせ致ます

東京市淺草觀音仲見世。天勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科　梅毒科
泌尿器科　腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺の疾患
生殖器科　男女生殖機能障害
婦人科
特設ジアテルミー科

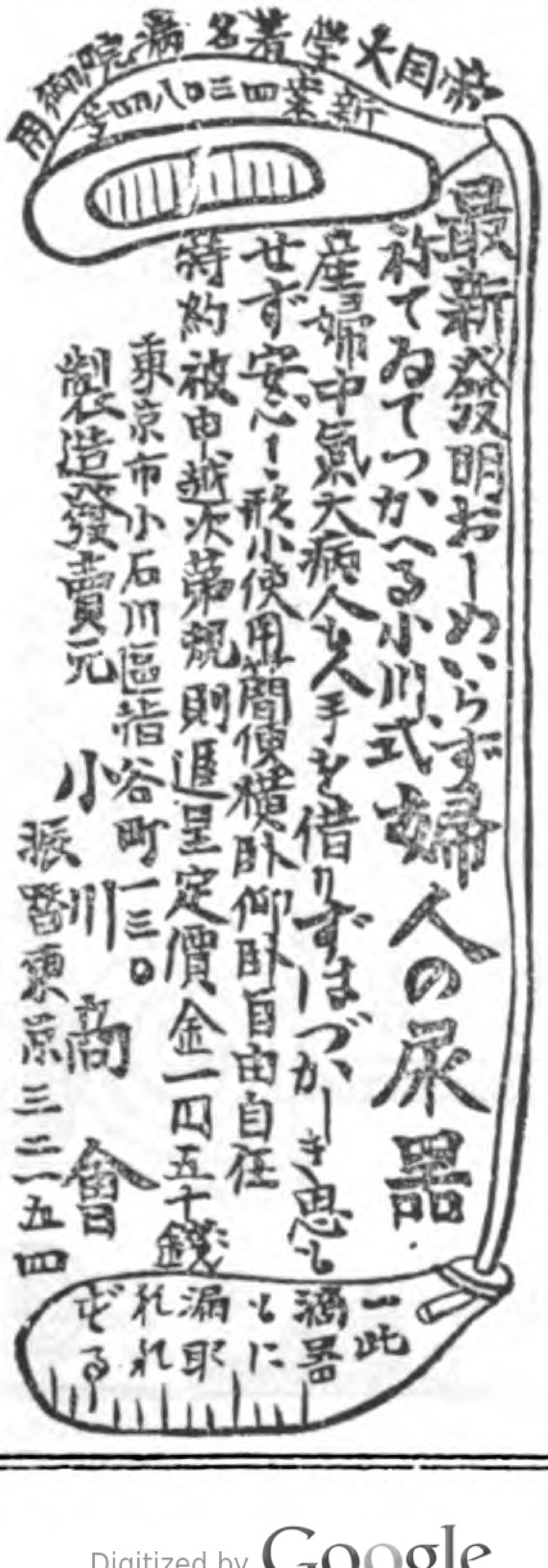
日本橋區通二丁目白木屋出口前

中嶋醫院

電本局三九八〇番

院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

御婦人の福音



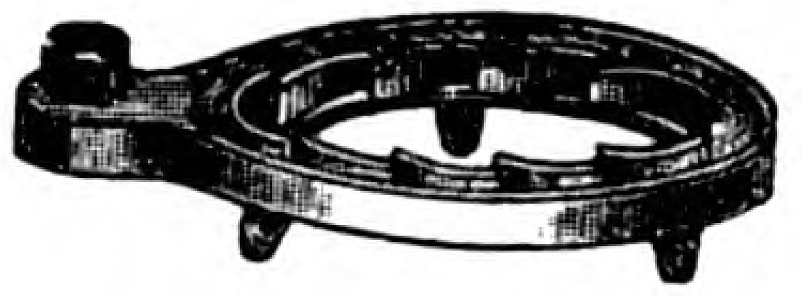
全國著名ノ藥店ニアリ

市内迅速無料配達
地方送料金八錢

新案特許

二口式

竈用燃料節減器



品質保険

申込次第
目録進呈

◉本器の構造及特長

【半減】本器は時間と燃料を半減します

【丈夫】鑄鐵製にして極く丈夫で堪久力は普通の釜と同じです

【無煙】火の勢力を溫調して可成く煙のもへる樣な仕掛をしてありますから煙もホンの僅かしか出ません煙筒は只火氣吸込みの爲なりもえるに隨つて絕對に煙は出ません（不思議です）

【衛生】焚口の方へは蓋が無くても火先も煙も少しも出ませんゆへ火の用心は安全です。舊式の竈に使用すれば屋內に煙の籠る事なく屋內が煤にて汚れる等の事はありませんゆゑ衛生上にも缺く可からざる器であります

【火器溫調】本器を使用して炊た御飯は火が溫調しく一面に釜へ充滿する故其美味なる事御飯に心の出來ぬ事は實に奇想であります一刻も早く御試用ありて其間違なき事を御認め下さい

【使用輕便】本器は如何なる竈にも雜作なく直ぐに使用する事が出來て竈の改造等の手數は更にいりません

製作發賣元　東京市神田區松枝町十六番地　**仲直商店**　電話神田(長)一五六九・二二八七　振替東京三二八九三

特約販賣店　東京市四谷區大番町七十七番地　**多賀谷商店**

岩本母乳研究所 附屬 乳房專門 龍泉堂醫院

診察科目

乳汁不足、乳腺炎、龜裂、乳腫、脚氣、其他乳病一般

乳病一切の難病重症も切開手術を要せず藥劑を以て治療の目的を達せしむる良藥あり、

遠方のお方は年齡と產前產後の區別、凝り、腫物、疵、乳不足、其他一般容態の御申越により夫々適藥を送る、世上一般の御婦人は單に產後白汁が出づれば最早安心滿足して毫も其乳汁の產兒に對する適不適又は含有する要素の多少卽ち濃淡の程度を度外視せらるゝ結果往々不慮の悲歎に陷らるゝ事も尠からず、故に若し此等の點に就き不安を感ぜられたる時は速に當所研究所の診斷を受けらるゝか又は本所へ詳細なる手紙を以て御照會せらるべし本劑は從來の乳不足者も姙娠中より服用し置かるれば產後母子共に天與の幸福を享け得らるべし、

尙乳病に就ては本誌の五月號須田夫人の實驗談記事を御參照あれ、

催乳服用藥　一週間分金壹圓拾錢
腫物外用藥　金壹圓
送料內地八錢■海外朝鮮三十錢

東京市本鄕區本鄕四丁目
岩本母乳研究所製藥部
振替口座東京一四〇八六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雨の音が一入みんなの心持を沈ませてゐた。——
やがて母は歸つて來たが、要領を得なかつた。丁度明日の朝から宿りがけでお花が横濱の親戚とやらに行く仕度をしてゐる處だつたので、歸宅つてからでなければ、何うも返事が出來ないといふことを齎したに過ぎなかつた。
『ぢやあ歸宅つて來てからでないと……』
三人は失望の顏を見合せた。
『あの娘の樣子では厭でもないらしかつたから、直きに歸つて來るかもしれないよ。』
當惑してゐる倉田を慰めるやうに母は言つた。倉田はお花の横濱行きを中止させて、明日からでも來て貰ひたいと、母にせがんだりしてゐたが、やつと諦めをつけて悄然と歸つて行つた。
倉田がさして行く雨傘に當る雨の音が、もの淋しい感じを私等に與へ乍ら、次第に遠くなつていつた。しばし、私等は默つてゐた。
『彼奴は不足らしい顏をしてゐたけれど、お花ちやんでもいゝから欲しいにや欲しいのだよ、きつと。』
私は雨戸を閉めて來て、かう言つて笑つた。
『あれで結好なものさ。』
母はもつともらしく言つた。二人が倉田を見縊つてゐる私等の態度に對しての不滿を、弟はもつてゐたらしかつた。けれど、いまゝで倉田が後を追廻したりしてゐた下女や白首なぞよりも、彼女の親父が俥夫であるにしろ、彼女の方がいゝといふ私の説には同意だつた。
『あれでも生娘だから、淸淨なものさ。』
母はだれに言ふとなく、かう言つてその座を起つた。
彼女が、倉田にお思召があるなら、四五日と言つた日限りよりか早く横濱から歸京つて來るだらふよ。
さう言つて、私等はお花の歸宅を待つてゐたが、豫期してゐた日になつても、お花の家から、彼女の歸宅したことをしらせて來なかつた。よく人手の足りない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ところに借りられる娘だから、貸す丈けは大丈夫だと思つて待つてゐたが、四五日も過ぎたが彼女は歸へらない。毎日のやうに、お花のことをきゝに來る倉田に對しての氣の毒さが、衆の胸に閊へてゐた。

『もしかすると、もう歸つて來てゐるかもしれないよ。』と、さう言つてお花の家迄樣子を見に行つた私は、歸つて來て、

『だめらしいよ。』と、いきなり母に言つた。

お花自身にも、彼女の母親にも、嫁入させたい意志があるらしいけれど、お祖母さんといふ人がお花を他に遣りたくないと思つてゐる樣子が、今日の話振りで明瞭したことを私は話した。

婿を貰ふつたつて、あんな家に誰が來るもんぢやない‥‥いつ迄あゝしてあの娘をおくつもりなんだらふか。ことによると、あの婆さんは、矢張あの娘の母親のやうに茶屋奉公にでもやるつもりなのかもしれないよ。』

かう言つた私の母は、かねて倉田の家のことをよく言はない、金棒曳のおつぎさんが水でも注したのか、それとも遣りたいは遣りたいが支度金が無いのでもあるのか、と、いろんなあて推量をしたりしてゐた。しかし、お花の方はだめならだめとしても、倉田の方も捨てゝ置けないので、丁度久振りで訪ねて來た、世話好きのつんぼ婆さんに頼んで、嫁が出來る迄のつなぎにと、手傳の婆さんを探して貰つて、やつと倉田の家に行つて貰つた。

しかるに倉田の家の方では、それでもまだ納りがつかなかつた。

倉田自身も妻を欲しがるし、雇婆さんよりも嫁を貰ふ方が彼の家の爲めにいゝと思つてゐる私の母と、さうして、彼の家に遊びに行く都度、嫁のことを兩親から頻りに頼まれて來る弟は、彼の嫁を探すことを念頭から放すことが出來なかつた。雇婆さんを頼んだ時、序につんぼ婆さんにも頼んで置いたのだけれど、これと言つた話も持つて來なかつた。倉田に對して、嫁の世話なぞを眞劍になつてして遣る者が他にないと、さ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う思へば思ふ程、弟と母の熱心は餘計に加はらないではゐなかつた。倉田の母親に近來床摺れが出來て來たから、もう長いことはあるまい。といふ話をきくにつけて、一増私の家では倉田の嫁のことに焦燥つてゐた。

『僕は何うでもいゝんですが、おふくろに安心させたいと思ひますので……』

倉田はしほらし氣に、かう言つて私の家に早く嫁を探してくれと嘆願するのであつた。母の同情はますます加はつた。

『彼奴はおふくろがつて言ふけれど、御當人の自分が欲しくつて仕方がないんだぜ。』と、さう言つて『ほんとうはおふくろが死んで了つてから、氣長に探したらいゝだのに。』と、冷淡にさう言つた私は、

『親の身になつても子の身になつても、生きてゐる中にと思ふのが人情だわね』と母に言はれたりしてゐた。

『しかし、いくら探してもいゝのが無い。』

倉田が來て呟かなければ忘れてもゐられるのだが、一日をきにきつと彼は顏を出すので、彼の苦痛が私の家の日常生活にうるさく混つて來る。――倉田も困るだらふ――と、さういふ心配が誰の口からとなく、日に二三度は漏れないことがない。探しあぐんでゐたある日、ふとした話の序に、弟が同僚に漏したら、親類にいゝ相手があるらしいとのきつかけから、また倉田の嫁の話が新たに持上つた。

嫁に行つた姉の家に厄介になつてゐて、臺所の手傳なぞしてゐるのだが、生れも惡くないし、容貌もいゝ年も二十三四だといふから彼には丁度いゝだらふと、役所の歸途に同僚と一處に行つて、その女を見て來た弟は喜ばしさうに私等に話した。

『あゝやつて働いてゐるからなんだけれど、化粧でもしたらいゝだらうと思ふよ。』

弟は功名顏に彼の女が書いた姓名書きなぞを私に見せた。筆蹟からすると、まんざらの者でもないらしく思へた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その翌晩、弟からの話をきいた倉田は、女を見たいと言つて、私の家に遣つて來た。

『しかし君！　君は赤いリボンでも掛けてゐるハイカラ女を理想としてゐるのだらふけれど、さう思つて見に行くと駄目だからね。』

弟に兄き振つた念を押されて、倉田は『それは昔のことだね。』と、眞面目らしく、弟と一處に女を見に出かけた。その晩倉田に女を見せて歸つて來た弟は、彼がその女を氣に入つたらしいと母に話してゐた。

『あゝいふのを貰へれば僕は幸福だ。』

歸り路に、彼は二度も三度もさう言つてゐたが、彼は自分に不具なところがあるのを心配し乍ら分れたと氣の毒さうに弟は言つた。

『さうだらうね。その身になつて見ると、何の位身がひけるか分らないよ、きつと。』『あすこさへちやんとしてゐれば惡い容貌つていふのでもないのに……。』

母はしみじみ言つた。

『倉田は「僕のことをよく話してくれたか」つて言ふけれど、あれを言ふとあぶないと思つたから默つてゐたがね……』

弟は掛念らしい顏をした。

『眞實！　倉田も氣の毒に生れついたものさね。』

番茶を啜り乍ら、默つて二人の談話をきいてゐた私は、かう言つて二階に寢に行つた。が、男の容貌は何うでもいゝと思つてゐた、在來からの觀念が明瞭と頭腦の中で破られて了つたことを思つた。床を敷いて、蚊帳を釣りかけ乍ら、無事に此の緣談が纒つたとしてからが、雙方であれを氣付き氣付かれた時の、お互の心持は何うだらふと、そんなことを心苦しく考へないではゐられなかつた。

倉田の爲めに彼の缺點をかくさうとしてゐる弟の態度！

そんなことを幻のやうに考へ乍ら、私はいつか眠つて了つた。

*　*　*　*　*　*　*　*　*

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人社の新事業

新眞婦人社では、近く先輩と有志の賛助を得て、女子修養塾「青葉の舍」と云ふのを設立することになりました。左に其の設立趣意書を掲載致します。どうぞ之れを御一讀下されて、應分の御賛助を玉はらんことを切望致します。

青葉の舍設立趣意書

地方の御婦人中、色々の御事情から、上京して職を求めねばならぬ方で、新眞婦人社へ依賴して來られる方が次第に增えて參りました。又一方では東京に於ける諸所の知合の方から『人がないか』と云つて尋ねられる事も次第に多くなつて來ました。之れまでとても出來る丈け御世話をして參りましたが、僅かに手紙で知れる丈けの人を御世話するのですから、心苦しい場合、御小言を頂く樣な場合も多く御座いました。一方職を求めらるゝ方には何とかして御世話して上げたいと思いながら、便利な組織のない爲めに、ほんの暫らくの日月の事で適當な職業を見失はねばならぬ樣な事が御座います、手紙で地方に紹介してゐる中に。でどうかして、寄宿舍樣のものを設け、地方の御婦人で上京したいと云ふ方は、兎も角も御引受して一と先づ之れに收容し、御本人を見た上で、それ〳〵適當と思ふ所へ御世話し、且つ職業婦人にならうと云ふ方々に、必要な心得を御話いたす事に致したいものと祈つてゐました。所が愈々其の時が參りました。どうしてもさうしたいと云ふ決心がつきましたから、皆樣に御願して、其の設備をするについての資金と維持費の中へ、應分の御寄附をして頂きたいと存じます。

青葉の舍規約

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、職を求むる婦人、學資の足らぬ婦人、求職者其の他の相談に應じ、職業の周旋を爲すと共に、場合によりては一時本舎に收容保護するを目的とします。

二、本舎が御世話せし人々を會員とし、會員は其の目的を達せし後、本舎へ任意の感謝金を寄附すべき義務あるものとします。

三、本會の經費は、會員の感謝金と、名譽賛助員の寄附金とを以て支辨します。

四、本舎の報告は、凡て新眞婦人誌上で發表します。

玉井様より

先日御優しの先生よりの御手紙を頂戴いたしたのみにて其の後は何の御たよりもいたさず御無音に打ち過しました在京中は何かと忙しく思ふ様にも相なり申さず先生の御厚恩今だに忘れ申さず何時も思ひ出されてなりませんでした。

丁度御伺ひもいたさんと思つて居りました折柄國許より母上京いたし突然歸國いたさればならぬので別に御別れもいたさずこれには色々な事情もありまして殘念ながら其のまゝに打ち過しました。

誠に今更何の申上げやうも御座いません重ね〲相すみません。

歸國後は渡南いたす考へでしたが或事情の爲め許されず只今は表書の學校に奉職いたして居ります、然し、現在の生活に何不自由なきが誠に不滿に堪えられず又々近い内には上京いたす考へであります、別にこれと申す心當りもありませんが、少々目的事大いに煩悶いたし決する所ありての末で御座います。

就ては先生の御許へも御訪問いたしいろ〱御詫びやら昔語とでも……いたし又何分か御恩に報いん考へで御座います誠に今までは何かと忙がしく思ひがけない御無音、失禮のみいたしました。

私は相當の年となりました、何も恐るゝ必要はない、兼ね〲の意志を發表するの考へです未だに耳はよくなりません然し只今は何の不自由もなく最も上級の主任となり（俸ではありますが三十五圓）を得て教師の地位に立ちました。

吉田様より

御社益々御繁榮賀し奉り候

さて未見の記者先生誠に突然にてあつかましき御願ひ申し恐れ入り候へど私血縁の者に當年二十五才（京都府立第一高等女學校本科卒業生）家庭の事情有之上京致し自活の道を得たく他家に奉公にても致し度き由に候も別に相談致し候程の知人も在京致し居らず候に付誠に御多忙の處御手數恐れ入り候へど東京に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てもつとも信用あり大家に出入致し候一流のケイアンを二三住所と名御教へにあづかり度願上候尚御紹介下され候へば此の上もなき幸に候本人の身元及人物も確證致し萬一間違之有候とも萬事引き受申候御盡力下され候へば四月頃本人上京の節必ず御禮を忘れ申すまじく候

尚記者様に右様の人御入用のお宅御心當り之有候へば御世話にあづかり度重れてあつかましき申し分に候へど御願ひ申し上候

恒川様より

まだ一度も御めにかゝりません方へぶしつけに葉書をさし上げまして失禮の程悪しからず御許し下さいましわかみどりの木かげ美しいこの頃如何お暮し遊しますか承りますればおなじ文の屋で教をうけましたとかたとへ時代はちがひましても何となくおなつかしく存じます新眞婦人毎號うれしく拜見して居ります誠におそれ入りますが御代價のほど一寸御聞かせ下さいましまた當地へお越しの節にはどうぞお立寄下さいませ亂筆御許し下さいまし

長谷川様より

其後は打たえて御無沙汰申上げて居ります何とぞおゆるし下さいませ新眞婦人も頂きばなしで代金もさし上げませず大變失禮致しましたどの位拜借になつて居りますか一寸おしらせ願ます實は私が昨年から大病致しまして此頃漸く轉地からもどりました様の次第で大變すみませんでしたさてとんだお願ひで御座いますが實に右様の次第で私が身體大變よわりましたものですから子供の教育をして頂くおかたがもしや御知人のうちにありませんでしやうか三十才以上で宅へすみ切りで女子三人のお世話が願ひ度いと思ひます給料は相當にお出し致しましてもかまひません只極々正直で深切のおかたでさいあれば學問は多分いりません學校の事は教える先生が毎日まゐります、實は私がお伺ひいたしましてお願ひいたすべきですがまだ外出が少しむつかしう御座いますから甚だ失禮ですが手紙で伺ひました様の次第でどうぞ御ゆるし願ます御返事はおそれいりますが電話でも頂けばけつこうで御座いますまづはお願まで、

株式會社 帝國貯蓄銀行

頭取 高田信次郎　取締役 高田釜吉
專務取締役 關谷錬太郎　監督 高田愼藏

銀座一丁目
電話京橋 八一五 八一六 三一七四
振替口座東京 三八〇〇〇

支店
飯倉三丁目　牛込神楽坂　南品川一丁目
赤坂表町　浅草花川戸　横濱戸部町
四谷大通り　神田須田町
本郷一丁目　兩國元柳町

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光二郎主筆

自働道話

平易簡明に、實踐道徳、新道徳を說く雜誌にして、
六月號の要目下の如し

狂人―凡人―偉人―遊戯の科學（西川光二郎）
獨逸人の組識的能力（湯原元一）健康の要件（小野鐘山）

▲菊版二十六頁
▲一部郵稅共六錢五厘
▲一年同七拾錢
▲毎月一日發行

新眞婦人合本（自一號至十二號）定價郵稅共一圓
合本第二卷（自十三號至二十四號）同
合本第三卷（自二十五號至三十六號）同
合本第四卷（自卅七號至四十八號）同

新眞婦人社

職業敎育が受けたい方は

若し若い婦人で、兩親から學資は出して貰へないが、體丈けは二三年許して頂けるから何か職業教育を授かりたいと云ふ方が御座いましたら御相談下さい、本社の贊助員の方で敎育して下さる方が御座いますから。

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け
(1)職業を求むる御婦人
(2)職業の撰擇に迷ふ御婦人
(3)家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4)結婚の事
等の御相談に應じます。
▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後四時頃御出で下さい。
なほ右の件につき手紙で御相談下されば、直接又は誌上にて御答へすることにいたします。

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊（郵稅共）拾參錢
半年分（郵稅共前金）七拾五錢
一年分（郵稅共前金）壹圓四拾錢

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正七年五月二十八日印刷納本
大正七年六月一日發行

本郷區駒込動坂町三二七番地
發行兼編輯人及印刷人 西川文子

本所區番場町四番地
印刷所 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込動坂町三二七
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料品製造の恩命を
蒙れる　東洋唯一の飲料水

三ツ矢サイダー

平野水

コローナ

胃腸病に
特効ある
鑛泉製

宮内省御用達

帝國鑛泉株式會社

東京、大阪

新眞婦人第六十二號　大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正七年六月一日發行（毎月一回一日發行）　定價金拾參錢

この歯の美しさを見られよ！
ライオン歯磨を朝夕愛用する方の歯は皆斯の如く美し。

ライオン歯磨　ライオン石鹸　本舗　東京市本所區外手町　小林富次郎
支店　大阪東區南久寶寺町二丁目　名古屋市
上海・大連